

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材		
国語・国語総合	1年	4普	改訂版高等学校国語総合（教研出版）	基礎から学ぶ解析古典文法三訂版 高等学校国語総合準拠ワーク 新訂国語図説五訂版 書いて覚える漢字練習ノート二訂版		
	現代文分野			古典分野		
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> 現代文の読解の基礎を身に付け読み慣れる。 優れた文章に触れ、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を高める。 自分の考えを的確に表現し、伝える能力を養う。 さまざまな文章を読み、内容を的確に理解する力を養い、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 互いの立場や考えを尊重しながら話し合う能力を高める。 			<ul style="list-style-type: none"> 古文、漢文の読解の基礎を身に付け読み慣れる。 古人の知恵や生き方に触れ、古典を読む楽しさを知るとともに、それらを尊重する態度を培う。 優れた文章に触れ、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を高める。 さまざまな文章を読み、内容を的確に理解する力を養い、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 		
学期	単元	学習内容	到達度目標	単元	学習内容	到達度目標
1	随想	・わたしであり、あなたでなくちゃ ・「差」という情報	・文章を読解する基本的な方法を理解する。 ・日頃使っている言葉について意識を高め、言葉が表現できるものについて考えを深める。	(古文) 古文入門	・児のそら寝 ・検非違使忠明 ・竹取物語	・古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 ・文語と口語の違いを理解する。 ・ノートの使い方、歴史的仮名遣い、辞書の引き方等、基礎知識を身に付ける。
	小説(一) 評論(一)	・羅生門 ・水の東西 ・「攻撃」と「共存」	・小説や評論文に親しむ態度を培うとともに効果的な表現や難解な語句に留意し、話の展開や主題を読み取る。 ・水に対する東西文化の考え方の分析をとおして、筆者の指摘する日本文化の特性を理解する。 ・効果的な表現や難解な語句に留意し、話の展開や主題を読み取る。	(古文) 随筆	・徒然草	・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・品詞や用言の活用など基本的な事柄を理解する。 ・文体の魅力を味わうとともに、無常観について考える。
	詩	・六月 ・サーカス ・I was born	・さまざまな詩の読解をとおして、感受性を磨き、想像力を養う。 ・詩を音読し、その韻律を味わうことで、詩の言葉の持つ重みや表現の特色について理解する。	(漢文) 入門	・訓読の基礎 ・再読文字、助字、置き字	・教材への関心を喚起するとともに、漢文訓読の基礎を身に付ける。
	評論(二) 小説(二)	・「わらしべ長者」の経済学 ・清兵衛と瓢箪	・評論文の構成や展開の仕方に注意し、論旨をつかむ。 ・身近な例から経済学への思考への展開の面白さを味わう。	(漢文) 故事	・漁夫の利、矛盾、狐借虎威、朝三暮四	・故事成語のもとになった話の内容をとらえたうえで、故事成語の現在使われている意味について理解する。
	評論(二)	・ネットが崩す公私の境	・論理的な文章の読み方について、理解を深める。 ・文章を要約するのに必要な技術を身に付ける。	(古文) 歌物語	・伊勢物語	・文章の内容を構成や展開に即して内容を読み取る。 ・歌物語の特色について理解する。
2	小説(二)	・ナイン	・作品世界を客観的にとらえ、自己の内面とかかわりながら、作者の生き方や人間観をとらえる。	(古文) 随筆	・枕草子	・中古の人々のものの考え方や生き方について考える。
	評論(三)	・コインは円形か	・論理的な文章の読み方について、理解を深める。 ・文章を要約するのに必要な技術を身に付ける。	(古文) 和歌	・万葉集 ・古今和歌集	・和歌の優れた表現に親しみ、和歌を読解、鑑賞する力を養う。 ・和歌のリズムに慣れ、歌に込められた心情を味わう。
	小説(三)	・富嶽百景 ・旅する本	・作品世界を客観的にとらえ、自己の内面とかかわりながら、作者の生き方や人間観をとらえる。	(漢文) 史伝	・管鮑之交 ・晏子之御 ・鶏口牛後	・訓読のための基礎事項の完全な定着を図る。
	短歌と俳句	・短歌 ・俳句	・短歌や俳句の鑑賞方法について学ぶ。 ・定型表現の特徴や表現技法について学び、日本語や日本文化に対する理解を深める。 ・各短歌と俳句を正確に解釈、鑑賞する。	(漢文) 唐詩	・絶句 ・律詩	・唐詩を読み味わい、中国古典文学への関心を高める。 ・漢詩のきまり（詩形・押韻・構成・対句）について理解する。
	評論(三)	・宇宙から学ぶ	・論理を支える言葉を正確にとらえる。 ・現代的な問題について、論理的に考察した文章の読解を通して、思考を深める。	(古文) 軍記物語	・平家物語	・和漢混雑文のリズムに慣れ、それぞれの場面の状況や登場人物の様子を理解する。 ・軍記物の文体の、魅力を味わうとともに、無常観について考える。
3	小説(四)	・沖繩の手記から	・作品の主題の普遍性を理解する。 ・自分の意見を確立し、発言したり、文章化したりする力を養う。	(古文) 日記文学と俳諧紀行	・土佐日記 ・おくのほそ道	・文章の内容を構成や展開に即して内容を読み取る。 ・紀行文の特徴と作者の思いを感じ取る。
	評論(四)	・ものごとば ・時間と自由の関係について	・論理的な文章の読み方について、理解を深める。 ・文章を要約するのに必要な技術を身に付ける。	(漢文) 思想	・論語	・中国の思想を代表する儒家思想の概略をとらえる。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材		
国語・国語総合	1年	4 工商	新編 国語総合 (数研出版)	新編国語総合準拠ワーク 五訂版 新訂国語図説 書いて覚える漢字練習ノート		
	現代文分野			古典分野		
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の表現力・理解力の育成をする。 ・伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。 ・言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。 ・国語の尊重と向上を図る態度を育てる。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合う能力を高める。 			<ul style="list-style-type: none"> ・古文、漢文の読解の基礎を身に付け読み慣れる。 ・古人の知恵や生き方に触れ、古典を読む楽しさを知るとともに、それらを尊重する態度を培う。 ・優れた文章に触れ、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を高める。 ・さまざまな文章を読み、内容を的確に理解する力を養い、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 		
学期	単元	学習内容	到達度目標	単元	学習内容	到達度目標
1	随想(一)	・世界は一つのクラスルーム ・立ってくる春	・文章を読解する基本的な方法を理解する。 ・文章の内容を自分の体験に即して理解している。	(古文) 入門	・児のそら寝 ・検非違使忠明	・古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 ・文語と口語の違いを理解する。 ・ハートの使い方、歴史的仮名遣い、辞書の引き方等、基礎知識を身に付ける。
	小説(一)	・とんかつ	・小説に親しむ態度を培うとともに効果的な表現や難解な語句に留意し、話の展開や主題を読み取る。 ・描かれた場面の状況から登場人物の心情を読み取っている。	(古文) 随筆	・徒然草	・品詞や用言の活用など基本的な事柄を理解する。 ・文体の魅力を味わうとともに、無常観について考える。
	評論(一)	・ものづくり ・語感トレーニング	・難解な語句に留意し、話の展開や主題を読み取る。	(漢文) 入門	・故事一 ・漁夫の利 ・虎の威を借る狐 ・管鮑の交わり	・教材への関心を喚起するとともに、漢文訓読の基礎を身に付ける。 ・故事成語のもとになった話の内容を捉えた上で、故事成語の現在使われている意味について理解する。
	小説(二)	・羅生門	・詩を音読し、その韻律を味わうことで、詩の言葉の持つ重みや表現の特色について理解する。	(漢文) 唐詩	・春暁、江雪、涼州詞	・唐詩の形式、韻律、構成、特徴について理解する。
	詩	・六月 ・サーカス	・詩を音読し、その韻律を味わうことで、詩の言葉の持つ重みや表現の特色について理解する。			
2	随想(二)	・滅びるものは滅びるままに ・里山物語 ・りんごのほっぺ	・叙述に即して情景や人物の様子を正確に読み取っている。 ・「里山」は「自然」ではないとする筆者の考えを捉えている。 ・「私」の心情を表現に即して的確に読み取っている。	(古文) 詩歌	・万葉集 ・古今和歌集 ・新古今和歌集	・和歌の優れた表現に親しみ、和歌を読解、鑑賞する力を養う。 ・和歌のリズムに慣れ、歌に込められた心情を味わう。
	短歌・俳句	・その子二十 ・不來方や	・短歌や俳句の鑑賞方法について学んでいる。 ・それぞれの歌から情景や心情を読み取っている。	(漢文) 思想	・論語	・訓読のための基礎事項の完全な定着を図る。 ・人の生き方や考え方を読み取り味わわせるとともに、自らの生き方について考えさせる。
	小説(三)	・ナイン ・カレーうどん	・小説という表現形式の特徴を理解している。 ・夏代が気づいた人の優しさや善意について考えている。	(古文) 物語	・伊勢物語	・文章の内容を構成や展開に即して内容を読み取る。 ・歌物語の特色について理解する。 ・古人にとっての恋愛と結婚について、概要を把握している。
	評論(二)	・水の東西 ・	・筆者の主張をふまえ、自分が考える「美しさの発見」について、適切な表現の仕方を考えている。			
3	言語活動	・討論する ・スピーチする	・反論を想定して発言したり疑問点を質問したりしながら、課題に応じた話合いや討論をしている。 ・状況に応じた話題を選んでスピーチしたり、資料に基づいて説明したりしている。	(漢文) 史話	・十八史略 ・乱世の姦雄 ・赤壁の戦い	・中古の人々のものの考え方や生き方について考える。 ・作者の感性を、文章中の具体例によって理解している。
	小説(四)	・清兵衛と瓢箪	・作品の全体像を概観している。 ・生と死や極限状態における人間の姿について深く考えている。	(古文) 軍記物語	・平家物語	・和漢混淆文のリズムに慣れ、それぞれの場面の状況や登場人物の様子を理解する。 ・軍記物の文体の、魅力を味わうとともに、無常観について考える。
	評論(三)	・「わらしべ長者」の経済学	・本文について関心を持っている。 ・当然だと思っていることについて、改めて深く考え、自分の意見を表現している。			

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 世界史A	普通科2年 工業科2年 商業科2年	2	新版世界史A 新訂版 (実教出版)	ダイアログ世界史図表 新版四訂 (第一学習社)
科目の概要 と目標	1 世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させる。 2 文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培う。 3 国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	世界史へのいざない (I) ユーラシアの諸文明 1 ユーラシアの諸文明と交流 (II) 一体化する世界と日本 2 一体化に向かう世界と日本	人類の誕生と文明の発生、東アジア世界の形成、東アジア世界の展開、東アジア世界の発展、モンゴル帝国と元、南アジア世界の形成、南アジア世界の展開、東南アジア世界の成立、オリエント世界の統一、地中海世界の形成、キリスト教の成立と発展、イスラームの成立、イスラーム帝国の分裂と多様化、ヨーロッパ世界の形成、ヨーロッパ世界の展開 ルネサンスと宗教改革、大航海時代、絶対王政の時代、西ヨーロッパ諸国の展開、東ヨーロッパ諸国の展開、近代ヨーロッパと世界貿易、イスラーム諸王朝の成熟、オスマン帝国とヨーロッパ、明から清へ	地球の誕生や人類の誕生の変遷、四大文明と現在の文化の関連性を理解することができる。 殷から清までの中国王朝を、漢民族と遊牧騎馬民族との関係に留意しながらそれぞれの変遷を考察し、風土と生活、言語・文字、思想などの視点を通して東アジアの世界を理解する。 厳しい自然環境の下でいろいろな宗教の成立を考察し、それを基礎とした社会制度が確立することで一つの社会が形成される過程を理解する。 キリスト教から成立した社会を考察するとともに、中世ヨーロッパ封建社会の動向について理解する。	
2	3 ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界変動 (III) 地球社会と日本 4 現代世界のあゆみ	産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命、ナポレオンとウィーン体制、1848年の革命、19世紀後半のイギリスとフランス、19世紀後半のイタリアとドイツ、東方問題と19世紀のロシア、19世紀のアメリカ合衆国、西アジアの変動、南アジアの変動、東南アジアの変動、中華帝国の動揺、明治維新と東アジア、東アジアの変革急変する社会、帝国主義と世界分割、ヨーロッパ国際関係の緊張、第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ体制と国際連盟、戦間期の欧米と日本、西アジア・インドの民族運動、東アジアの民族運動、世界恐慌とニューディール、ヒトラーとムッソリーニ、満州事変から日中戦争へ、ヨーロッパでの戦争、アジア・太平洋戦争	新航路の開拓以後、世界の一体化が進み、植民地が形成されるようになったことを理解する。 イギリス・アメリカ・フランスの市民革命の過程と産業革命後の資本主義成立が諸国に与えた影響を理解する。 18世紀後期から19世紀までのヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成の進行を理解し、その知識を身につけるとともに、これらを考察・比較して、その過程や結果を適切に表現することができる。帝国主義列強による世界分割と各国の変貌を、地図や図版を利用して、視覚的に捉えることができる。2つの世界対戦の経緯と現代の戦争の具体的な姿について考察することができる。	
3	5 第二次世界大戦後の世界 主題学習	国際連合と冷戦、ヨーロッパとアジアの冷戦、アジア諸国の独立、第三勢力の結集、多極化する世界、冷戦の終結と社会主義の変容、冷戦後の世界、21世紀の世界、模擬国連をやってみよう	東西冷戦や多極化、戦後世界の動向を考察することができる。 冷戦終結後の地域紛争の実例を取り上げ考察し、今後の全人類の課題について、解決方法をふまえて考察することができる。 環境、世界平和・安全など全人類の課題について考察し、国際的な交流と強調の必要性について理解する。	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 世界史B	普通科 2年 (文系)	4	世界史B (東京書籍)	アカデミア世界史 (浜島書店) 世界史 重要語句チェックリスト2021 (啓隆社) 高校生のためのふるさと富山 (富山県教育委員会)
科目の概要 と目標	<p>1 四大文明の起源を知り、その後の古代国家の成立、発展の過程を把握する。また前近代においては各地域における信仰が国家と密接な関係を持ち、歴史的展開にも重要な役割を担っていたことを認識する。</p> <p>2 地域ごとの歴史展開を把握しながらも、各時代において地域を超えた交渉があったことを経済や文化の視点を主眼として学習する。</p> <p>3 後進的なヨーロッパ世界がキリスト教布教とともに拡大していった様子を学ぶとともに、宗教改革やルネサンスなどがキリスト教世界から起こり、近代社会を生み出す基盤となったことを認識させる。</p> <p>4 身近な郷土の歴史を世界における日本の様子と関連づけて理解を促す。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	文明以前の人類 オリент世界と東地中海世界 地中海世界と西アジア 南アジア世界 東アジア世界 高校生のためのふるさと富山	人類の登場 地域文化の形成 オリент世界の成立 オリент世界の展開 ギリシア世界 ヘレニズム世界 都市国家から世界帝国へ ローマ帝国の繁栄 古代末期の世界と地中海世界の解体 地中海世界と西アジア 南アジアにおける文明の成立と国家形成 インド世界の形成 東アジアにめばえた文明 中華帝国の誕生 東方の世界帝国 随時、世界史で学習したことに絡めて内容に触れる。	<ul style="list-style-type: none"> 人類の進化の過程や文明の成立について関心を持つようにさせる。 メソポタミアとエジプトの文明が生み出した様々な国家の興亡について整理し、把握できるようにする。 ギリシアとローマの文明の形成と政治的変遷について共通点、相違点などを見出すことができるようにする。 ローマ帝国の興亡を戦争や奴隷制と関連付けて説明できるようにする。 インダス文明について概要を把握できるようにするとともにインド社会と宗教のかかわりに注目しながら歴史的展開を説明できるようにする。 黄河文明の成立から唐にいたるまでの王朝の興亡を政治制度、経済状況、周辺諸民族の動向などに着目しながら正確に答えられるようにする。 	
2	内陸ユーラシア世界 東南アジア世界 アフリカ、オセアニア、古アメリカの地域世界 イスラーム世界の形成 ヨーロッパ世界の形成 東アジア世界の変容とモンゴル帝国 高校生のためのふるさと富山	騎馬遊牧民国家の興亡 草原地帯のトルコ化とイスラーム化 海の道の形成と東南アジア 東南アジア諸国家の再編成 アフリカ オセアニア 古アメリカ イスラーム世界の成立 イスラーム世界の発展 イスラーム文明 東ヨーロッパ 西ヨーロッパ中世世界の成立 封建社会と都市 カトリック教会と十字軍 中世ヨーロッパ文化 中世世界の動揺 ルネサンス 唐の崩壊後の東アジア 宋代の新展開 ユーラシア帝国をおおうモンゴル帝国 元朝の成立 随時、世界史で学習したことに絡めて内容に触れる。	<ul style="list-style-type: none"> 東西の文明交流や経済面での結びつきに着目し、また中国やヨーロッパの情勢と関係づけて、その興亡を説明できるようにする。 インドや中国の歴史との関連性において東南アジアにおける歴史文化遺産を説明できるようにする。またアフリカや古代アメリカについてはのちの時代の伏線として概略を把握できるようにする。 イスラームの教義の特色をふまえたうえで、アジアの様々なイスラーム王朝の興亡を整理して把握できるようにする。またイスラーム文明が世界史において果たした役割についても概要を把握させる。 科挙官僚を支配層とする中国社会の成立過程をふまえて、周辺諸民族との抗争を通じた五代・宋以降の王朝興亡を説明できるようにする。 東ヨーロッパ世界の特徴をビザンツ帝国とスラブ人の動向を中心に把握できるようにし、基本的知識を習得させる。 西ヨーロッパ世界の形成におけるローマカトリック教会の役割に注目しながら、中世ヨーロッパの封建社会の成立と変容について説明できるようにする。 	
3	海域世界の発展 大交易時代 ユーラシア諸帝国の繁栄 近世のヨーロッパ 高校生のためのふるさと富山	三つの海域世界の成立 海と陸の結合 東南アジア世界の発展 アジア交易世界の再編と活況 海洋帝国の出現 大交易時代の世界 イランと中央アジアの繁栄 東地中海の強国—オスマン帝国 インドの大国—ムガル帝国 明と東アジア世界 清と東アジア世界 主権国家群の形成と宗教改革 オランダの繁栄と英仏の追いあげ 18世紀のヨーロッパと啓蒙専制国家、近世ヨーロッパ社会と文化 随時、世界史で学習したことに絡めて内容に触れる	<ul style="list-style-type: none"> モンゴル、イラン、トルコ系諸民族による各王朝の興亡を整理して把握できるようにするとともに、それらがユーラシア諸地域の交流と再編に果たした役割について説明できるようにする。 明・清時代の儒教体制による政治制度の整備と経済および文化の繁栄について、ヨーロッパに与えた影響などもふまえながら具体的な事例をあげられるようにする。 プロテスタントの思想的特色を従来のローマ＝カトリックと対比して理解できるようにするとともに、ヨーロッパのアジア・アメリカへの進出について宗教改革の影響が絡んでいることをふまえて事例をあげられるようにする。 ヨーロッパに絶対主義による主権国家に基づいた国際社会が成立した経緯を把握したうえで、16～18世紀のヨーロッパで戦争が絶えなかった理由を政治体制、経済的事情、宗教対立などの面からそれぞれ説明できるようにする。 	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 世界史B	普通科 2年 (体育コース)	4	世界史B (東京書籍)	アカデミア世界史 (浜島書店) 世界史 重要語句チェックリスト2021 (啓隆社) 高校生のためのふるさと富山 (富山県教育委員会)
科目の概要 と目標	<p>1 四大文明の起源を知り、その後の古代国家の成立、発展の過程を把握する。また前近代においては各地域における信仰が国家と密接な関係を持ち、歴史的展開にも重要な役割を担っていたことを認識する。</p> <p>2 地域ごとの歴史展開を把握しながらも、各時代において地域を超えた交渉があったことを経済や文化の視点を主眼として学習する。</p> <p>3 後進的なヨーロッパ世界がキリスト教布教とともに拡大していった様子を学ぶとともに、宗教改革やルネサンスなどがキリスト教世界から起こり、近代社会を生み出す基盤となったことを認識させる。</p> <p>4 身近な郷土の歴史を世界における日本の様子と関連づけて理解を促す。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	文明以前の人類 オリент世界と東地中海世界 地中海世界と西アジア 南アジア世界 東アジア世界 高校生のためのふるさと富山	人類の登場 地域文化の形成 オリент世界の成立 オリент世界の展開 ギリシア世界 ヘレニズム世界 都市国家から世界帝国へ ローマ帝国の繁栄 古代末期の世界と地中海世界の解体 地中海世界と西アジア 南アジアにおける文明の成立と国家形成 インド世界の形成 東アジアにめばえた文明 中華帝国の誕生 東方の世界帝国 随時、世界史で学習したことに絡めて内容に触れる。	<ul style="list-style-type: none"> 人類の進化の過程や文明の成立について関心を持つようにさせる。 メソポタミアとエジプトの文明が生み出した様々な国家の興亡について整理し、把握できるようにする。 ギリシアとローマの文明の形成と政治的変遷について共通点、相違点などを見出すことができるようにする。 ローマ帝国の興亡を戦争や奴隷制と関連付けて説明できるようにする。 インダス文明について概要を把握できるようにするとともにインド社会と宗教のかかわりに注目しながら歴史的展開を説明できるようにする。 黄河文明の成立から唐にいたるまでの王朝の興亡を政治制度、経済状況、周辺諸民族の動向などに着目しながら正確に答えられるようにする。 	
2	内陸ユーラシア世界 東南アジア世界 アフリカ、オセアニア、古アメリカの地域世界 イスラーム世界の形成 ヨーロッパ世界の形成 東アジア世界の変容とモンゴル帝国 高校生のためのふるさと富山	騎馬遊牧民国家の興亡 草原地帯のトルコ化とイスラーム化 海の道の形成と東南アジア 東南アジア諸国家の再編成 アフリカ オセアニア 古アメリカ イスラーム世界の成立 イスラーム世界の発展 イスラーム文明 東ヨーロッパ 西ヨーロッパ中世世界の成立 封建社会と都市 カトリック教会と十字軍 中世ヨーロッパ文化 中世世界の動揺 ルネサンス 唐の崩壊後の東アジア 宋代の新展開 ユーラシア帝国をおおうモンゴル帝国 元朝の成立 随時、世界史で学習したことに絡めて内容に触れる。	<ul style="list-style-type: none"> 東西の文明交流や経済面での結びつきに着目し、また中国やヨーロッパの情勢と関係づけて、その興亡を説明できるようにする。 インドや中国の歴史との関連性において東南アジアにおける歴史文化遺産を説明できるようにする。またアフリカや古代アメリカについてはのちの時代の伏線として概略を把握できるようにする。 イスラームの教義の特色をふまえたうえで、アジアの様々なイスラーム王朝の興亡を整理して把握できるようにする。またイスラーム文明が世界史において果たした役割についても概要を把握させる。 科挙官僚を支配層とする中国社会の成立過程をふまえて、周辺諸民族との抗争を通じた五代・宋以降の王朝興亡を説明できるようにする。 東ヨーロッパ世界の特徴をビザンツ帝国とスラブ人の動向を中心に把握できるようにし、基本的知識を習得させる。 西ヨーロッパ世界の形成におけるローマカトリック教会の役割に注目しながら、中世ヨーロッパの封建社会の成立と変容について説明できるようにする。 	
3	海域世界の発展 大交易時代 ユーラシア諸帝国の繁栄 近世のヨーロッパ 高校生のためのふるさと富山	三つの海域世界の成立 海と陸の結合 東南アジア世界の発展 アジア交易世界の再編と活況 海洋帝国の出現 大交易時代の世界 イランと中央アジアの繁栄 東地中海の強国—オスマン帝国 インドの大国—ムガル帝国 明と東アジア世界 清と東アジア世界 主権国家群の形成と宗教改革 オランダの繁栄と英仏の追いあげ 18世紀のヨーロッパと啓蒙専制国家、近世ヨーロッパ社会と文化 随時、世界史で学習したことに絡めて内容に触れる	<ul style="list-style-type: none"> モンゴル、イラン、トルコ系諸民族による各王朝の興亡を整理して把握できるようにするとともに、それらがユーラシア諸地域の交流と再編に果たした役割について説明できるようにする。 明・清時代の儒教体制による政治制度の整備と経済および文化の繁栄について、ヨーロッパに与えた影響などもふまえながら具体的な事例をあげられるようにする。 プロテスタントの思想的特色を従来のローマ＝カトリックと対比して理解できるようにするとともに、ヨーロッパのアジア・アメリカへの進出について宗教改革の影響が絡んでいることをふまえて事例をあげられるようにする。 ヨーロッパに絶対主義による主権国家に基づいた国際社会が成立した経緯を把握したうえで、16～18世紀のヨーロッパで戦争が絶えなかった理由を政治体制、経済的事情、宗教対立などの面からそれぞれ説明できるようにする。 	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 世界史B	普通科 3学年	3	世界史B（東京書籍）	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店） 世界史B用語集（山川出版社） 世界史重要語句チェックリスト（啓隆社）
科目の概要 と目標	<p>1. 近代市民社会の目覚めとなるアメリカ独立戦争とフランス革命の歴史的背景を理解し、近代市民社会における民主主義発祥の過程を理解する。</p> <p>2. ヨーロッパ社会が帝国主義を推進していくなかで、非ヨーロッパ社会を植民地化していく過程を理解する。そして帝国主義の対立が世界大戦へと向かっていったことを知る。</p> <p>3. 冷戦が解消された後に、吹き出てきた民族紛争の問題をその民族の歴史的背景をふまえて理解することで世界史のまとめとする。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	<p>欧米における工業化と国民国家の形成</p> <p>産業資本主義の発展と帝国主義</p> <p>アジア諸地域の变革運動</p>	<p>2年次学習内容の復習</p> <p>激化する経済覇権抗争 工業化による経済成長と社会問題の発生 合衆国とラテンアメリカ諸国の独立 フランス革命とウィーン体制 自由主義の台頭と新しい革命の波</p> <p>イギリスの覇権とヨーロッパ諸国 南北アメリカの発展 第2次産業革命と社会生活の変化 植民地獲得競争と動揺する世界秩序</p> <p>西アジアの改革運動 南アジア・東南アジアの植民地化と民族運動の黎明 清の動揺と変貌する東アジア</p>	<p>・近現代史を理解する下地として前近代史の内容を完成させる。</p> <p>・18世紀後半にイギリスの覇権が確立した経緯を理解するとともにその理由を政治、経済などの様々な側面から考察する姿勢を培う。また近代資本主義社会が抱える矛盾について当時の世界におこった歴史的事象を通じて認識を深める。</p> <p>・ヨーロッパによる侵略を受ける前のアジア諸国の様子を概観するとともに、それらの国々の前近代的な社会体制が植民地支配の対象にされるにいたった理由を説明できるようにする。</p> <p>・産業革命後のヨーロッパと他の地域との経済的なつながりから帝国主義政策がとられた背景を理解し、ナショナリズムや社会主義運動などとの関係についても説明できるようにする。</p>	
2	<p>世界戦争の時代</p> <p>戦後世界秩序の形成</p>	<p>第一次世界大戦 ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編</p> <p>大戦後の合衆国とヨーロッパ アジア・アフリカでの国家形成の動き 世界恐慌と国際対立の激化 第二次世界大戦</p> <p>冷戦の形成と展開 植民地の独立と世界政治 東アジアの「熱い戦争」と経済発展 合衆国の覇権の動揺と再編</p>	<p>・ヨーロッパを中心とした世界の一体化と世界大戦のとの関係について、ナショナリズムの問題に触れながら説明できるようにする。</p> <p>・ナショナリズムや社会主義革命の影響をふまえて、ファシズムが台頭した経緯をドイツを中心とした視点から捉えられるようにし、またこれに対抗する形でのアメリカを中心とした国際政治について、その流れを述べるようにする。</p> <p>・国際連盟が第二次世界大戦の勃発を防止できなかった原因を追究し、現在の国際連合が設立された経緯と問題点について認識を深める。</p> <p>・1960年代からの国際政治の多極化について、第三世界や米ソそれぞれの陣営における独自路線の動きをとる国々の動向を事例として背景となる要因を説明できるようにする。</p>	
3	<p>情報革命と世界経済の一体化</p>	<p>情報革命とグローバル化</p> <p>冷戦の終結と新たな世界秩序 21世紀の地球的課題と地域世界</p>	<p>・1年次における「現代社会」での既習事項と結びつけることができるようにする。</p> <p>・現代世界の諸課題について、歴史的観点から概略を把握できるようにする。</p>	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 日本史A	普通科2年 工業科3年 商業科3年	2	高等学校改訂版日本史A 人・くらし・未来(第一学習社)	プロムナード日本史(浜島書店)
科目の概要	<ul style="list-style-type: none"> 幕末期の政治的変遷の様子を様々な政治運動の動向に注目しながら理解する。 日本における立憲国家の成立過程とその特色について、富国強兵政策の内容と自由民権運動の盛衰を視点に据えながら理解する。 日清戦争から第二次世界大戦に至るまでの植民地支配と経済および国民生活の様子について、相互の關係に着目しながらその変遷を学習する。 日本国憲法と戦後体制の成立過程を学ぶとともに、憲法の理念と国際協調との間で生じた新たな問題について、その内容を理解し、解決の方法を考察する姿勢を培う。 			
科目の目標	<ol style="list-style-type: none"> 近代日本において成立し、現代に連なる政治・経済・文化の営みについて、先人の取り組みを学び、残された課題を自身の問題として考察する姿勢を培う。 政治、経済、文化の各分野における問題が相互に関連していたことを理解しながら、近代以降の日本の歴史が常に国際社会の影響を受けて変遷していたことを学ぶ。 			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	1 私たちの時代と歴史 2 近現代の日本と世界 (1) 近代国家の形成と国際關係の推移	近現代学習のはじめに 近代への胎動 開国と幕末の動乱 近代国家の形成 国際關係の推移と近代産業の発展	鎖国に至った背景を世界情勢や幕藩体制構築との關係から説明できるようにする。 欧米のアジア侵略とともに国内における経済発展や思想・文化の動向をふまえたうえで、開国の過程を述べるができるようにする。 様々な勢力や政治運動について、共通点と相違点をふまえたうえで、倒幕へと至った経緯が理解できるようにする。 自由民権運動の盛衰を政府による立憲国家樹立の動きと絡めて説明できるようにする。 当時の近代産業による資本主義体制の樹立が、侵略戦争による植民地支配とも深く関与していたことを認識できるようにする。	
2	(2) 両大戦をめぐる国際情勢	第一次世界大戦と日本 第二次世界大戦と日本	経済発展による国民生活の向上と民衆の政治運動への参加および政党政治の成立との關係を具体的な歴史事象をあげて説明できるようにする。 第一次世界大戦に参戦した目的を当時の国内および海外情勢に照らして説明できるようにする。 戦争の長期化や敗戦必至の状況に突入することを防止できなかった原因と終戦決定の遅れが生じた背景について、政治・社会体制と絡めて考察する姿勢を持たせる。	
3	(3) 現代の日本と世界	日本の再出発 独立後の政治と経済の発展 現代の日本と世界	戦後の民主的改革と経済復興にいたる変遷について、米ソの冷戦を基軸とした国際政治の視点から説明できるようにする。 独立後の日本における政治や経済について、日本国憲法と米国を中心とする国際社会の観点から理解できるようにする。	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 日本史B	普通科 2学年 (文系)	4	詳説 日本史 改訂版 (山川出版社)	詳説日本史図録 (山川出版社) 日本史 重要語句 Check List 2021 (啓隆社) ポテンシャル日本史 基礎力養成編
科目の概要 と目標	<p>○古代日本人の生活、信仰、文化を理解するとともに、大陸との交渉を通しての影響の重要性を把握する。</p> <p>○中央政府のあった京都から地方への政治、経済、文化の広まりと成長が、今日の日本の土台となっていることを理解する。</p> <p>○今日の町や村の土台となった地域の形成、戦国大名による地方の国別支配、ヨーロッパ人の来航と新文化の伝来、豊臣秀吉の全国統一を理解する。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 律令国家の形成	文化のはじまり 農耕社会の成立 古墳とヤマト政権 飛鳥の朝廷 律令国家への道 平城京の時代 天平文化 平安王朝の形成	<p>○日本における最初の文化とその形成過程、大陸との交渉と文化の伝来について理解できる。</p> <p>○国内を統一した政権、大陸との外交関係、聖徳太子の政治と最初の仏教文化について理解できる。</p> <p>○隋・唐の律令制の導入と日本的社会の形成、唐の清新な文化の輸入について理解できる。</p> <p>○律令政治の発展と農民の負担増大の様子、大仏造立と鎮護国家思想、荘園の成立について理解できる。</p>	
2	第3章 貴族政治と国風文化 第Ⅱ部 中世 第4章 中世社会の成立	摂関政治 国風文化 地方政治の展開と武士 院政と平氏の台頭 鎌倉幕府の成立 武士の社会 蒙古襲来と幕府の衰退 鎌倉文化	<p>○平安京(京都)の形成、天台・真言両宗の発展とその文化、藤原氏の摂関政治とその文化について理解できる。</p> <p>○私有地(荘園)の増大と中央・地方武士団の成長、院政の様子、平清盛の政治と文化について理解できる。</p> <p>○源頼朝の創った武家政権(幕府)、北条氏の執権政治、新旧仏教の鎌倉文化、元寇と幕府の衰退について理解できる。</p>	
3	第5章 武家社会の成長 第Ⅲ部 第6章 幕藩体制の確立	室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭 室町文化 戦国大名の登場 織豊政権 桃山文化 幕藩体制の成立 幕藩社会の構造	<p>○後醍醐天皇と足利尊氏の争い、室町幕府の政治、自治村の成長、明との朝貢貿易と朝鮮・琉球・蝦夷への貿易政策について理解できる。</p> <p>○禅宗による文化の形成と戦国の動乱による文化の地方分散について理解できる。</p> <p>○ヨーロッパ人の来航と鉄砲、キリスト教の伝来について理解できる。</p> <p>○天下統一者である織田信長、豊臣秀吉の政治と文化について理解できる。</p>	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 日本史B	普通科 2学年 (体育コース)	3	詳説 日本史 改訂版 (山川出版社)	詳説日本史図録 (山川出版社) 日本史 重要語句 Check List 2021 (啓隆社) ポテンシャル日本史 基礎力養成編
科目の概要 と目標	<p>○古代日本人の生活、信仰、文化を理解するとともに、大陸との交渉を通しての影響の重要性を把握する。</p> <p>○中央政府のあった京都から地方への政治、経済、文化の広まりと成長が、今日の日本の土台となっていることを理解する。</p> <p>○今日の町や村の土台となった地域の形成、戦国大名による地方の国別支配、ヨーロッパ人の来航と新文化の伝来、豊臣秀吉の全国統一を理解する。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 律令国家の形成	文化のはじまり 農耕社会の成立 古墳とヤマト政権 飛鳥の朝廷 律令国家への道 平城京の時代 天平文化 平安王朝の形成	<p>○日本における最初の文化とその形成過程、大陸との交渉と文化の伝来について理解できる。</p> <p>○国内を統一した政権、大陸との外交関係、聖徳太子の政治と最初の仏教文化について理解できる。</p> <p>○隋・唐の律令制の導入と日本的社会の形成、唐の清新な文化の輸入について理解できる。</p> <p>○律令政治の発展と農民の負担増大の様子、大仏造立と鎮護国家思想、荘園の成立について理解できる。</p>	
2	第3章 貴族政治と国風文化 第Ⅱ部 中世 第4章 中世社会の成立	<p>摂関政治 国風文化 地方政治の展開と武士</p> <p>院政と平氏の台頭 鎌倉幕府の成立 武士の社会 蒙古襲来と幕府の衰退 鎌倉文化</p>	<p>○平安京(京都)の形成、天台・真言両宗の発展とその文化、藤原氏の摂関政治とその文化について理解できる。</p> <p>○私有地(荘園)の増大と中央・地方武士団の成長、院政の様子、平清盛の政治と文化について理解できる。</p> <p>○源頼朝の創った武家政権(幕府)、北条氏の執権政治、新旧仏教の鎌倉文化、元寇と幕府の衰退について理解できる。</p>	
3	第5章 武家社会の成長 第Ⅲ部 第6章 幕藩体制の確立	<p>室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭 室町文化 戦国大名の登場</p> <p>織豊政権 桃山文化 幕藩体制の成立 幕藩社会の構造</p>	<p>○後醍醐天皇と足利尊氏の争い、室町幕府の政治、自治村の成長、明との朝貢貿易と朝鮮・琉球・蝦夷への貿易政策について理解できる。</p> <p>○禅宗による文化の形成と戦国の動乱による文化の地方分散について理解できる。</p> <p>○ヨーロッパ人の来航と鉄砲、キリスト教の伝来について理解できる。</p> <p>○天下統一者である織田信長、豊臣秀吉の政治と文化について理解できる。</p>	

教科・科目	対象学科 ・学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 日本史 B	普通科 3 学年	3	詳説日本史 改訂版 (山川出版社)	詳説日本史図録 (山川出版社)、 日本史 重要語句 Check List 2020 新日本史研究ノート【標準編】 (啓隆社)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> 幕藩体制化の江戸時代の政治、経済、社会、文化の諸相と、それらの歴史的推移・変容を理解させる。 ヨーロッパ帝国主義諸国のアジアへの波及、明治新政府による近代国家の形成、資本主義経済と大陸侵略の経過、第一次世界大戦と大正デモクラシー、大衆文化の成熟、世界恐慌と日中戦争・第二次世界大戦の流れを理解させる。 第二次世界大戦後の民主化政策と国際社会への復帰、高度経済成長と国際関係の多様化、日本の国内外の課題について把握させる。 			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	第IV部 近代・現代 第9章 近代国家の成立	開国と幕末の動乱 明治維新と富国強兵 立憲国家の成立と日清戦争	開国後の国内情勢の推移と幕府の滅亡の過程が理解できる。 明治新政府の成立過程、西洋文化の摂取、憲法と議会による政治の成立過程が理解できる。	
		日露戦争と国際関係 近代産業の発展 近代文化の発達	日本における資本主義の成立、対外戦争との関わり、新時代の和洋両文化が理解できる。	
	第10章 二つの世界大戦と アジア	第一次世界大戦と日本 ワシントン体制 市民生活の変容と大衆文化 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦	帝国主義列強の一員としての動向、大正デモクラシーの様子、大衆文化の内容が理解できる。 1920年代の慢性的恐慌の経過と十五年戦争およびその戦時体制について具体的に説明できる。	
2	第11章 占領下の日本	占領と改革 戦の開始と講話	民主化政策 (新憲法の制定など)、戦後の経済復興等について理解できる。	
	第12章 高度成長の時代	55年体制 経済復興から高度成長へ	国際社会への復帰、高度成長から低成長の時代への移行について理解できる。	
	第13章 激動する世界と日本	経済大国への道 冷戦終結と日本社会の変容	国際化の諸相を理解するとともに、現代の国際社会における日本の役割を認識できる。	
	まとめ	学習のまとめ	2年間の学習を振り返り、総まとめができる。	
3	問題演習	問題演習	古代から現代までの流れを理解できる。	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 地理A	普通科・2年 工業科・3年 商業科・3年	2	高等学校新地理A（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）	図説地理資料世界の諸地域NOW （帝国書院）
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図に関する基本的知識と地図の活用について理解させる。 ・ 各種の地形の特色を理解させ、それが人間生活に果たしている役割と意味を考えさせる。 ・ 世界の気候区の特色を理解させ、人間生活との関係について考察させる。 ・ 世界の農業地域の区分と農業形態の基礎的知識を理解させる。 ・ 世界の主なエネルギー・鉱産資源の特徴を理解させる。 			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	地球儀や地図からとらえる現代社会	地球上の位置 経度の違いと時差 球面と平面の世界 国家の領域と国境 日本の領域と領土問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな図法の特色を理解できる。 ・ 時差のしくみを理解し、実生活に生かすことができる。 ・ 地形図の基本的な利用技術を身につける。 	
	人間生活を取り巻く環境	世界の大地形と人々の生活 山地・平野の地形と人々の生活 その他の地形	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地形と人間生活との関係について具体的に考えることができる。 	
	グローバル化が進む世界	世界を結ぶ交通・通信 拡大する世界の貿易	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代世界のグローバル化の実態を具体的に捉える。 	
2	人間生活を取り巻く環境	生活と気候のかかわり 熱帯・乾燥帯・温帯・亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活 人々の生活と産業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気候環境が人間活動に及ぼす影響について考えることができる。 ・ ケッペンの気候区分の概要を理解する。 ・ 世界の多様な気候と文化の違いを具体的にイメージすることができる。 	
	世界の諸地域の生活・文化	中国、インド、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアの生活・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業形態の地域分化を理解できる。 ・ 食料問題の現状を知り、その解決策を考える。 	
	日本の自然環境と防災	火山・地震災害と防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の地形や気候の特徴と自然災害を結びつけて考える。 	
3	地球的課題と私たち	世界の資源・エネルギー問題 世界の人口問題 世界の食料問題 世界の都市・居住問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界の資源の偏在を正しく認識することができる。 ・ 南北間の経済格差を捉え、その解決策を考えることができる。 	
	近隣諸国が取り組む課題と日本の役割	世界の環境問題 森林破壊・大気汚染への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界的な広い視野で環境問題などさまざまな問題を考えることができる。 	

教科・科目	対象学 科・学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 地理B	普通科 2年 (文系)	4	新詳地理B (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)	新詳地理資料 2021 (東京法令出版) 新地理要点ノート (啓隆社)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地表面上のさまざまな地形の特色を理解し、人々の生活にどのような影響を与えているかを考察する。 ・ 人々の生活が気候と密接に関連していることを、ケッペンの気候区分を通して考察する。 ・ 世界の農業地域の区分と農業形態の基礎的知識を理解し、諸地域で起きている食糧問題を考察する。 ・ 世界の主なエネルギー・鉱山資源や工業地域の特徴を理解する。 ・ 世界の諸地域に住む人々の生活様式には、いろいろな要因・形態があることを考察する。 ・ 世界の諸地域を調査する手順・方法について理解する。 			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	さまざまな地図と 地理的技能 自然環境と生活	地図の種類とその利用 世界の大地形と小地形 世界の地形 世界の気候 日本の自然の特徴と 人々の生活 環境問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代世界の地図の有用性に気づくとともに、時代背景や地図の中心の違いなどによって世界観が変化することについて考察する。 ・ 陸地がどのような過程で形成されたかを理解し、さまざまな地形と人々の生活との関係について具体的に考えることができる。 ・ 世界の気候分布と、そこに暮らしている人々の生活の違いを資料・図・写真や作業を通して考えることができる。 ・ 世界と日本の自然環境や生活の違いを理解できる。 ・ 世界の環境問題の成因や特徴と対策、地域的な分布を大観し、日本の環境問題の特徴と対策について考えることができる。 	
2	資源と産業	産業の発達と変化 世界の農林水産業 食料問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種産業は地形や気候と関連して展開されていることがわかる。 ・ 農業形態の地域分化を理解し、農産物の生産地や流通状況を把握することができる。 ・ 世界の農業における問題や自給率の少ない日本の現状を理解できる。 ・ 水産業や林業の発達条件や水産物、木材の流通について考えることができる。 	
	世界のエネルギー・ 鉱産資源	エネルギー資源の 利用と分布 鉱産資源の分布	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球上の資源の分布とエネルギー資源の使用状況について理解できる。 ・ 工業の立地条件をさまざまな観点から考察することができる。 	
3	資源・エネルギー問題	現代世界の資源・ エネルギー問題 日本の資源・ エネルギー問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉱産資源やエネルギー資源の使用状況を踏まえ、先進国が世界に与える影響を考察することができる。 	
	世界の工業	工業の発達と立地 世界の工業地域 現代世界の工業の 現状と課題 日本の工業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工業の立地条件をさまざまな観点から考え、工業地域の変容について理解することができる。 ・ 大国の工業の変容と発展途上国の工業化の経緯を理解することができる。 	

教科・科目	対象学 科・学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 地理B	普通科 2年 (理系)	2	新詳地理B (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)	新詳地理資料 2021 (東京法令出版) 新地理要点ノート (啓隆社)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地表面上のさまざまな地形の特色を理解し、人々の生活にどのような影響を与えているかを考察する。 ・ 人々の生活が気候と密接に関連していることを、ケッペンの気候区分を通して考察する。 ・ 世界の農業地域の区分と農業形態の基礎的知識を理解し、諸地域で起きている食糧問題を考察する。 ・ 世界の主なエネルギー・鉱山資源や工業地域の特徴を理解する。 ・ 世界の諸地域に住む人々の生活様式には、いろいろな要因・形態があることを考察する。 ・ 世界の諸地域を調査する手順・方法について理解する。 			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	さまざまな地図と 地理的技能 自然環境と生活	地図の種類とその利用 世界の大地形と小地形 世界の地形 世界の気候 日本の自然の特徴と 人々の生活 環境問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代世界の地図の有用性に気づくとともに、時代背景や地図の中心の違いなどによって世界観が変化することについて考察する。 ・ 陸地がどのような過程で形成されたかを理解し、さまざまな地形と人々の生活との関係について具体的に考えることができる。 ・ 世界の気候分布と、そこに暮らしている人々の生活の違いを資料・図・写真や作業を通して考えることができる。 ・ 世界と日本の自然環境や生活の違いを理解できる。 ・ 世界の環境問題の成因や特徴と対策、地域的な分布を大観し、日本の環境問題の特徴と対策について考えることができる。 	
2	資源と産業	産業の発達と変化 世界の農林水産業 食料問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種産業は地形や気候と関連して展開されていることがわかる。 ・ 農業形態の地域分化を理解し、農産物の生産地や流通状況を把握することができる。 ・ 世界の農業における問題や自給率の少ない日本の現状を理解できる。 ・ 水産業や林業の発達条件や水産物、木材の流通について考えることができる。 	
	世界のエネルギー・ 鉱産資源	エネルギー資源の 利用と分布 鉱産資源の分布	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球上の資源の分布とエネルギー資源の使用状況について理解できる。 ・ 工業の立地条件をさまざまな観点から考察することができる。 	
3	資源・エネルギー問題	現代世界の資源・ エネルギー問題 日本の資源・ エネルギー問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉱産資源やエネルギー資源の使用状況を踏まえ、先進国が世界に与える影響を考察することができる。 	
	世界の工業	工業の発達と立地 世界の工業地域 現代世界の工業の 現状と課題 日本の工業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工業の立地条件をさまざまな観点から考え、工業地域の変容について理解することができる。 ・ 大国の工業の変容と発展途上国の工業化の経緯を理解することができる。 	

教科・科目	対象学 科・学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 地理B	普通科 2年 (体育コース)	3	新詳地理B (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)	新詳地理資料 2021 (東京法令出版) 新地理要点ノート (啓隆社)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地表面上のさまざまな地形の特色を理解し、人々の生活にどのような影響を与えているかを考察する。 ・ 人々の生活が気候と密接に関連していることを、ケッペンの気候区分を通して考察する。 ・ 世界の農業地域の区分と農業形態の基礎的知識を理解し、諸地域で起きている食糧問題を考察する。 ・ 世界の主なエネルギー・鉱山資源や工業地域の特徴を理解する。 ・ 世界の諸地域に住む人々の生活様式には、いろいろな要因・形態があることを考察する。 ・ 世界の諸地域を調査する手順・方法について理解する。 			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	さまざまな地図と 地理的技能 自然環境と生活	地図の種類とその利用 世界の大地形と小地形 世界の地形 世界の気候 日本の自然の特徴と 人々の生活 環境問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代世界の地図の有用性に気づくとともに、時代背景や地図の中心の違いなどによって世界観が変化することについて考察する。 ・ 陸地がどのような過程で形成されたかを理解し、さまざまな地形と人々の生活との関係について具体的に考えることができる。 ・ 世界の気候分布と、そこに暮らしている人々の生活の違いを資料・図・写真や作業を通して考えることができる。 ・ 世界と日本の自然環境や生活の違いを理解できる。 ・ 世界の環境問題の成因や特徴と対策、地域的な分布を大観し、日本の環境問題の特徴と対策について考えることができる。 	
2	資源と産業	産業の発達と変化 世界の農林水産業 食料問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種産業は地形や気候と関連して展開されていることがわかる。 ・ 農業形態の地域分化を理解し、農産物の生産地や流通状況を把握することができる。 ・ 世界の農業における問題や自給率の少ない日本の現状を理解できる。 ・ 水産業や林業の発達条件や水産物、木材の流通について考えることができる。 	
	世界のエネルギー・ 鉱産資源	エネルギー資源の 利用と分布 鉱産資源の分布	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球上の資源の分布とエネルギー資源の使用状況について理解できる。 ・ 工業の立地条件をさまざまな観点から考察することができる。 	
3	資源・エネルギー問題	現代世界の資源・ エネルギー問題 日本の資源・ エネルギー問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉱産資源やエネルギー資源の使用状況を踏まえ、先進国が世界に与える影響を考察することができる。 	
	世界の工業	工業の発達と立地 世界の工業地域 現代世界の工業の 現状と課題 日本の工業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工業の立地条件をさまざまな観点から考え、工業地域の変容について理解することができる。 ・ 大国の工業の変容と発展途上国の工業化の経緯を理解することができる。 	

教科・科目	対象学 科・学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 地理B	普通科 3年	3	新詳地理B (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)	新編地理資料 (帝国書院) ウィニングコンパス地理の整理と演習 (東京法令出版)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術の発達による工業の変遷と、工業化に伴う経済発達による地域格差を理解する。 都市と村落の立地条件や機能などを理解し、都市化に伴い発生する都市問題を考察する。 世界の諸地域の特色を、それぞれの地域に住む人々の生活と関連させて理解するとともに、世界の地域や国々がどのように結びついているかを考察する。 国際社会における日本の役割について考察する。 			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	人口、村落・都市 世界の人口 人口問題 村落と都市	世界の人口問題 発展途上国・先進国・ 日本の人口問題 集落の成り立ち 村落の形態と機能 都市の機能と生活 世界の都市・居住問題 民族・宗教、領土問題	・村落と都市の立地条件や機能、諸問題に関して、先進国と発展途上国では違いがあることを理解することができる。	
	都市・居住問題 生活文化、民族・宗教 資源と産業 世界の工業	第3次産業 交通・通信 貿易と経済圏	・グローバル化と格差をキーワードに、現代世界の第三次産業、交通・通信、貿易の動向について理解することができる。	
2	現代世界の諸地域 東アジア 東南アジア	地誌の考察方法 中国の農業、工業化と 経済発展 ASEAN 諸国	・どのような観点から地域区分が行われているかを具体的に考察することができる。 地誌的に捉えながら、2年間の学習のまとめとする。	
	南アジア 西アジア アフリカ ヨーロッパ	インドの農業、工業・ IT産業 イスラム文化 一次産品への依存 ヨーロッパの農業・工 業、EU成立	・諸地域の歴史的変遷を見落とさず考察することができる。 ・さまざまな地域が発展する要因を他国との関係から具体的に考察することができる。 ・各国の発展の取り組みは、他国とどのような協力体制が成り立っているかを具体的に考察することができる。	
3	ロシア アングロアメリカ ラテンアメリカ オセアニア 現代世界と日本	ロシア産業の変化 アメリカの農業、科学 技術と産業 世界の中のアメリカ 鉱産資源と工業化 アジア諸国との結び つき	わが国日本の国際貢献を、広い視野に立って具体的に考察することができる。	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
公民 現代社会	普通科1年 工業科1年 商業科1年	2	現代社会（東京書籍）	最新現代社会資料集2021（第一学習社） 高校生のためのふるさと富山 （富山県教育委員会）
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> 地球上のさまざまな問題と人間の活動とのかかわりについて理解させる。 人生の中で青年期が持つ意味を捉え、自立するために何をしたらよいか考えさせる。 日本国憲法下の基本的人権と国の政治のしくみを理解させ、民主政治を実現していくための課題について考えさせる。 経済活動の高度化による課題を考えさせ、政府の財政政策・金融政策のしくみを理解させる。 労働基本権と労働環境の改善、消費者問題の現状について考えさせる。 グローバル化する国際社会の中の日本の役割を考えさせる。 			
学期	単 元	学 習 内 容	到 達 度 目 標	
1	1 現代に生きるわたしたちの課題	地球環境と資源・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会の諸問題の中から自ら課題を設定し、課題に関する情報を収集・整理し、発表することができる。 	
	2 現代の社会と人間 (1) 青年期と自己形成の課題 (2) 日本国憲法と民主政治 (ふるさと富山)	<p>現代社会と青年の生き方 よりよく生きることを求めて</p> <p>民主政治とは 日本国憲法の基本原理 日本の政治機構 現代政治の特質と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 青年期の意義と自らの進路や職業などの課題と青年期のあり方について考えることができる。 日本国憲法の基本原理を国民生活との関係から理解し、民主政治における個人と国家について理解できる。 1学期学習内容と関連させる 	
2	(3) 個人の尊重と法の支配 (4) 現代の経済と国民福祉 (ふるさと富山)	<p>個人の尊重と法の支配 経済のしくみ</p> <p>変化する日本経済 豊かな生活の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等、法と規範などについて考え、民主社会において自ら生きる倫理の自覚をめざす。 現代の経済社会における企業の働き、公的部門の役割、租税、金融機関の働きなどについて理解できる。 日本の財政の課題は何かを理解できる。 2学期学習内容と関連させる。 	
3	(5) 国際社会と人類の課題 3 ともに生きる社会をめざして (ふるさと富山)	<p>国際社会の現状と課題</p> <p>国際政治のしくみと動向</p> <p>持続可能な社会をめざして</p>	<ul style="list-style-type: none"> 労働基本権と労働環境の改善、消費者問題の現状について考えることができる。 グローバル化する国際社会の中の日本の役割を考えることができる。 生徒が自らの公民的資質の育成・向上を図ることができる。 3学期学習内容と関連させる。 	

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
数学・数学 I	普通科 体育コース 1年	3	改訂版 新編 数学 I (数研出版)	改訂版 教科書傍用 3 RAIAL 数学 I + A(数研出版) 改訂版 チャート式解法と演習数学 I + A(数研出版)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ○整式に関する事項の理解を深め、応用力を身につける。 ○集合を用いる意味を理解し、適切に使えるようになる。 ○2次関数のグラフが描けるようになる。 ○2次方程式、2次不等式が解けるようになる。 ○三角比の定義や性質を理解し、図形の計量に応用できるようになる。 ○資料を適切に整理し、活用できるようになる。 			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	1章 数と式 1節 式の計算	整式 整式の加法・減法・乗法 因数分解	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単項式、次数、係数、多項式、項、整式など、式についての用語を理解する ○ 公式を正しく用いるようにする ○ 1つの文字に着目して整理することに習熟する 	
	2節 実数 3節 1次不等式	実数 平方根を含む式の計算 不等式の性質 1次不等式 1次不等式の応用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実数が数直線上の点と1対1に対応していることを理解する ○ 平方根を含む式の計算や分母の有理化ができる ○ 数の大小関係を不等式で表わすことができる ○ 1次不等式をとくことができ、それを身のまわりの事象に応用することができる 	
	2章 集合と論理 1節 集合 2節 命題と論証	集合 命題と条件 論証	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集合の意味と表わし方・記号・用語等を理解する ○ 命題と条件の違いが明確にわかる ○ 必要条件・十分条件について理解する ○ 命題の逆と対偶の関係について理解する 	
	3章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ	関数 2次関数 2次関数の最大・最小 2次関数の決定	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関数の概念がわかる ○ 2次関数のグラフを描くことができる ○ 2次関数の最大値・最小値を求めることができる ○ グラフについての条件から、その条件を満たす2次関数を決定することができる 	
2	2節 2次方程式と2次不等式	2次方程式 2次関数のグラフとx軸の共有点 2次不等式	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2次方程式を解くことができる ○ 2次関数のグラフとx軸との共有点が2次方程式の解であることを理解する ○ 2次不等式が解けるようになる 	
	4章 図形と計量 1節 鋭角の三角比	2次不等式の応用 直角三角形と三角比 直角三角形の辺と角 三角比の相互関係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2次不等式を具体的な事象の考察に応用できる ○ 三角比の意味を理解し、直角三角形の辺と角との関係がわかる ○ 三角比の相互の基本的関係を理解する 	
	2節 三角比の拡張	三角比と座標 三角比の性質	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鈍角に拡張して三角比を求めることができる ○ 三角比の相互の基本的関係を応用できる 	
	3節 三角形への応用	正弦定理 余弦定理 三角形の面積 空間図形の計量	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正弦定理、余弦定理を使って角、辺の値を求めることができる ○ 三角比を空間図形の計量に活用できる 	
3	5章 データの分析 1節 データの整理と分析	データの整理 データの代表値 データの散らばり	<ul style="list-style-type: none"> ○ データを整理する必要性を理解する ○ データの代表値の意味を理解し、それらの計算方法と特徴を理解する ○ 散らばりの度合いを示す量の意味と計算方法がわかる 	
	2節 データの相関	相関 相関関係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 散布図の意味がわかる ○ 相関係数の意味がわかる 	
	課題研究		<ul style="list-style-type: none"> ○ 各自の設定した課題について、調査し考察できる 	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
科学と人間生活	工業科 商業科 ・1学年	2	改訂 科学と人間生活 (東京書籍)	ニューサポート 改訂 科学と人間生活 (東京書籍)
科目の概要と目標	自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	第1編 生命の科学 微生物とその利用 第2編 物質の科学 材料とその利用	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな微生物 ・自然界に見られる微生物 ・微生物の発見 ・生体内の微生物 ・発酵 ・食品や有用物質の製造などへの利用 ・バイオテクノロジー <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックと人間生活 ・プラスチックを構成する粒子 ・原子分子の基本的概念 ・元素の周期表 	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物と人間生活の関わりを理解できたか。 ・細胞の構造やバイオテクノロジーの基本的な考え方が理解できたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックや金属など、身の回りの材料についての化学的な構造を理解したか。 ・基本的な原子記号を覚え、原子の構造を理解できたか。 	
2	第2編 物質の科学 材料とその利用 第3編 光や熱の科学 光の性質とその利用	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊な機能を持つプラスチック ・金属と人間生活 ・金属の種類 ・金属の精錬とさび ・資源の再利用 <ul style="list-style-type: none"> ・光の波長とエネルギー ・光の三原色と物体の色 ・光の反射・屈折・回折・干渉・偏光 ・赤外線と紫外線 ・X線とγ線 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間生活と材料の関わり、資源の再利用について理解できたか。 ・エネルギー資源や再利用について理解できたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・虹などの日常現象が光の波としての性質によることが理解できたか。 ・公式の使い方を理解できたか。 	
3	第4編 宇宙や地球の科学 身近な天体と太陽系における地球 第5編 これからの科学 と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽系の構造と広がり ・太陽系を構成する天体①② ・太陽と人間生活 ・天体の動き ・太陽と月の動き ・太陽の動きと太陽暦 <ul style="list-style-type: none"> ・環境浄化のための微生物の効果的な利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽系の構造、天体に関する基本的な知識が身についたか。 ・宇宙と人間生活の関わりを理解し、これからの宇宙開発に興味・関心を持てたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題・環境浄化法について理解し、環境保全に興味・関心を持てたか。 	

教科・科目	対象学科 ・学年	単位数	教科書	使用教材
理科・ 物理基礎	普通科 ・2学年	2	物理基礎 改訂版(啓林館)	ステップアップノート 物理基礎 改訂版(啓林館) 物理実験テキスト (富山県理化学会) (中央書籍株式会社)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・物体の運動と力、および、それらの関係を理論的に理解する。 ・「仕事」の定義から、「エネルギー」への繋がりを学び、エネルギーというものを物理的に理解する。 ・「波」という物理現象の基本的性質「反射」「屈折」「回折」「干渉」について学び、実際の現象と結び付けながら理解を深める。特に、「音」や「光」に関する現象については、詳しく学ぶ。 ・電流と磁場に関する基本的な物理現象を学び、電流と磁場の関係を理解する。 			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	物体の運動	速度 加速度 落体の運動	物体の運動についての理論的な考え方を理解する。 等速直線運動，等加速度直線運動，自由落下運動， 放物運動について理解する。	
	力と運動	力 運動の法則 様々な力と運動	「力」というものを物理的にどのように理解し、扱 えばよいかを理解する。 あらゆる事象において、つりあいの式，運動方程式 を立てることができる。 剛体にはたらく力の扱い方を理解し、力のモーメン トについて理解する。	
	仕事とエネルギー	仕事 運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギーの保存	「仕事」の定義から、「エネルギー」という概念へ の繋がりを理解し、いろいろな事象においてエネル ギーを正しく扱うことができる。	
	熱とエネルギー	熱と温度 熱量 熱の利用	熱，電気などのいろいろなエネルギーについて、変 換と保存、エネルギーは等価であることなど総合的 に理解する。	
2	波の性質	波の伝わり方 波の性質	「波」という物理現象はどういうものかを学び、波 の基本的性質「反射」「屈折」「回折」「干渉」に ついて正しく理解する。実際の現象と結び付けなが ら理解を深める。	
	音	音波の性質 音源の振動	「音」に関する現象を、物理的な波として理論的に 理解する。音の三要素について物理的に理解する。 音の基本的性質「反射」「屈折」「回折」「干渉」 について理解する。音に関わる現象（うなり，弦の 振動，気柱共鳴，ドップラー効果など）について理 解する。	
	静電気と電流	静電気 電流	静電気は電子の移動によって生じるということを通 して理解する。物体が帯電するしくみ（静電誘導，誘電分 極）を理解する。 電場と磁場の関連性を理解する。 電流がつくる磁場を理解する。 フレミング左手の法則，電磁誘導，レンツの法則， ファラデーの電磁誘導の法則を理解する。	
	交流と電磁波	電磁誘導と発電機 交流と電磁波	電磁誘導という物理現象の発見から、交流，電磁波 へと科学が発展してきた歴史を背景に、現象を系統 的に理解する。	
3				

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
理科・化学基礎	普通科・1	2	改訂 化学基礎 (東京書籍)	改訂 ニューアチーブ化学基礎 (東京書籍) 新リポートノート化学① (浜島書店) 新リポートノート化学② (浜島書店)
科目の概要と目標	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解する。 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 化学の数量的な扱いができる。 周期表を中心に物質の性質・反応を系統的に理解する。 観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 物質の変化とその利用について、観察・実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現することができる。			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	化学と人間生活 物質の構成 ・物質の成分と構成元素 ・原子の構造と元素の周期表 ・化学結合 物質の変化 ・物質と化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> ・人間生活のなかの化学 ・化学とその役割 ・物質の成分 ・物質の構成元素 ・物質の三態 ・原子の構造 ・電子配置と周期表 ・イオンとイオン結合 ・イオンとイオン結合 ・分子と共有結合 ・金属と金属結合 ・物質の分類 ・原子量、分子量、式量 ・物質質量 	日常生活や社会を支える身近な物質の性質を調べる活動を通して、物質を対象とする科学である化学の特徴について理解させる。 物質の分離や精製の実験などを行い、実験における基本操作と物質を探究する方法を身に付けさせる。 元素を確認する実験などを行い、単体、化合物について理解させる。 粒子の熱運動と温度との関係、粒子の熱運動と物質の三態変化との関係について理解させる。 原子の構造及び用紙、中性子、電子の性質を理解させる。 元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解させる。 イオンの生成を電子配置と関連付けて理解させる。 イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解させる。 共有結合を電子配置と関連付けて理解させる。分子からなる物質の性質を理解させる。 金属の性質及び金属結合を理解させる。 物質と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解させる。	
2	物質の変化 ・物質と化学反応式 酸と塩基	<ul style="list-style-type: none"> ・溶液の濃度 ・化学反応式とその量的関係 ・酸と塩基 ・水素イオン濃度と pH ・中和反応と塩の生成 ・中和滴定 	化学反応に関する実験などを行い、化学反応式が化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを見いだして理解させる。 酸・塩基に関する実験などを行い、酸と塩基の性質及び中和反応に関与する物質の量的関係を理解させる。	
3	酸化還元反応 探究活動	<ul style="list-style-type: none"> ・酸化と還元 ・酸化剤と還元剤 ・金属の酸化還元反応 ・酸化還元反応の応用 ・化学基礎の学習内容での探究活動 	酸化と還元が電子の授受によることを理解させる。 イオン化傾向から反応を判断できるようにさせる。 実験を通して、電池のしくみを理解させる。 観察・実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現させる。	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
理科・化学基礎	工業科・商業科 3年	3	改訂化学基礎（東京書籍）	・リードL i g h tノート化学基礎（工） ・ニューサポート化学基礎（商）
科目の概要と目標	1. 原子の構造及び電子配置と周期律の関係を理解できる。 2. 化学反応の量的関係、酸と塩基の反応及び酸化還元反応の基本的な概念や法則が理解できるとともに、日常生活や社会と関連付けて考察できる。 3. 探究活動を行い、学習内容を深めるとともに、化学的に探究する能力を高める。			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	序編化学と人間生活 第1編 物質の構成 1章 物質の探求 純物質と混合物・化合物と元素・物質の三態	・ろ過・蒸留・抽出・再結晶・クロマトグラフィー・同素体・炎色反応・拡散・絶対温度・状態変化・物理変化・化学変化	・混合物、純物質の違いや、化合物の違いについて理解できる。 ・同素体の意味と具体例が理解できる。 ・実験で炎色反応を理解する。 ・物理変化と化学変化の違いが説明できる。	
	2章 原子の構造と元素の周期表 ・元素の周期律と元素の性質	・陽子・中性子・電子・同位体・電子配置・価電子・周期律・周期表・金属と非金属・陽性と陰性	・原子の構造と原子番号、質量数、同位体の意味が理解できる。 ・最外殻電子と価電子の違いが説明できる。 ・アルカリ金属、アルカリ土類金属、ハロゲン、希ガスの各グループを覚える。	
	3章 化学結合 ・イオン・イオン結合・共有結合・配位結合・分子間の結合・金属結合・化学結合と物質の分類用途	・イオンの電子配置・イオンの価数・イオン化エネルギー・電子親和力・イオン結晶・組成式・電子式・構造式・共有結合・共有結合の結晶・配位結合分子結晶・金属結合	・周期表が周期律により配列された元素の表であることを理解できる。 ・イオンの電子配置が理解できる。 ・イオン結合、共有結合および金属結合を結晶格子や分子模型等で説明できる。 ・塩の組成式が書ける。	
	第2編 物質の変化 1章 物質質量と化学反応式 ・原子量・分子量・式量・物質質量・溶液の濃度	原子量・分子量・式量・アボガドロ数・アボガドロの法則 質量パーセント濃度・モル濃度	・原子量、分子量、式量が相対質量であることを理解できる。 ・物質質量の計算ができる。 ・気体の密度が計算できる。 ・パーセント濃度をモル濃度に変換できる。	
2	・化学反応と量的関係	・化学反応式の書き方	・係数の比が物質質量の比であることを理解できる。 ・イオン反応式が書ける。	
	2章 酸と塩基 ・酸と塩基 ・水素イオン濃度とpH	・酸と塩基の性質・アレニウスの定義・ブレンステッドとローリーの定義・価数・強弱・電離度・水素イオン濃度・pH・pH指示薬・身近な物質のpH	・酸塩基の電離式が書ける。 ・酸・塩基の性質や価数、また強弱と電離度の関係について理解できる。 ・水の電離、水素イオン濃度とpHの関係、酸塩基の強弱と滴定曲線の関係が理解できる。 ・身近な物質のpHについて理解できる。	
	・中和反応と塩の生成 ・中和滴定	・中和反応・塩の分類・塩の性質・弱酸の遊離・弱塩基の遊離・中和滴定・滴定曲線	・中和の条件、塩の加水分解が理解できる。 ・中和滴定の操作ができる。 ・滴定曲線が描ける。	
3	3章 酸化還元反応 ・酸化と還元 ・酸化剤と還元剤	・酸素、水素、電子の授受と酸化還元・酸化数 ・半反応式	・実際の酸化還元反応から酸化剤・還元剤の関係を理解できる。 ・酸化数を簡単に求めることができる。	
	・金属の酸化還元反応	・金属のイオン化傾向・反応性・電池の原理	・金属樹が理解できる。 ・イオン化傾向から反応がおきるかおきないかを判断できる	
	・電気分解 ・様々な酸化還元反応	・ボルタ電池・ダニエル電池 ・鉛蓄電池・電気分解・ファラデーの法則	・実験をとおして電池が説明できる。 ・金属のイオン化傾向を理解し、電池の仕組み、電気分解のしくみを理解できる。	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
理科・生物基礎	普通科・2年	2	改訂版新編生物基礎 (数研出版)	三訂版 リードLight ノート生物基礎 (数研出版)
科目の概要と目標	<p>1 現代生物学の基礎となる代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系といった基礎的な内容を、最先端の生物学を織り交ぜながら学習する。</p> <p>2 生物の多様性の中から法則を導き、その中の法則に基づきながら共通性を見いだしていく。</p> <p>3 観察・実験を通して自然を科学的に探求する能力を育てる。さらに、実験に対する目的、仮説、準備、方法、結果、考察、発展という手順に従ったレポートを作成する能力を育てる。</p> <p>4 命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	<p>生物の特徴 生物の多様性と共通性 生命活動とエネルギー</p> <p>遺伝子とそのはたらき 生物と遺伝子 遺伝情報の分配 遺伝情報とタンパク質合成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多様な生物の共通点 生物の共通性としての細胞 エネルギーと代謝 代謝に関わる酵素 生体内におけるエネルギー変換 ミトコンドリアと葉緑体の起源 正確に伝わる遺伝情報 DNA の構造 ゲノムと遺伝情報 細胞分裂と DNA の複製 細胞周期と DNA の複製 遺伝情報の流れ 転写 翻訳 遺伝子の発現と生命現象 	<ul style="list-style-type: none"> 生物の多様性と共通性について理解する。 多くの生物の細胞には核が含まれているが、核がない生物も身近にいることを知る。 エネルギーの通貨としての ATP について理解する。 酵素の性質を理解する。 ミトコンドリアが細胞呼吸の場となっていることを知る。 光合成においてデンプンが合成されるしくみを理解する。 遺伝子の本体としての DNA について理解する。 体細胞分裂に伴う DNA の複製について理解する。 染色体の構造について理解する。 核の中で、DNA が塩基の相補性に基づき複製されるしくみを理解する。 遺伝情報がタンパク質の合成という形で現れる過程を理解する。 DNA と RNA の構造について理解する。 mRNA のコドンがリボソームによりアミノ酸に翻訳されるしくみを理解する。 	
2	<p>生物の体内環境の維持 体内環境</p> <p>体内環境の調節 免疫</p>	<ul style="list-style-type: none"> 体内環境の特徴 心臓と血液循環 体内環境を調節する器官 自律神経系による調節 内分泌系による調節 自律神経とホルモンによる協同作業 免疫 自然免疫 適応免疫 免疫とヒト 	<ul style="list-style-type: none"> 体液の循環や調節に関わる心臓・腎臓・肝臓などはたらきを理解する。 酸素解離曲線から、酸素とヘモグロビンの結合に影響する諸条件について理解する。 腎臓におけるろ過と再吸収のしくみを理解する。 自律神経とホルモンによる体内環境の調節のしくみを理解する。 異物の体内への侵入を防いだり、侵入した異物を排除したりするしくみを学ぶ。 ABO 式血液型の分類と、異型血液の輸血により凝集反応が引き起こされるしくみを理解する。 体内環境を保つ上で血液が重要な役割を果たしていることを理解する。 	
3	<p>生物の多様性と生態系 植生の多様性と分布 気候とバイオーム 生態系とその保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> 植生と生態系 植生の遷移 地球上の植生分布 陸上のバイオーム 生態系でのエネルギーの流れ 生態系での物質の循環 生態系のバランスと保全 生物多様性の保全 	<ul style="list-style-type: none"> 生態系の成り立ちと植生の果たす役割を理解し、植生の遷移が生じるメカニズムを理解する。 気候条件の違いにもとづいて、さまざまなバイオームが成立する過程を知り、世界や日本におけるバイオームの分布について理解する。 生態系におけるエネルギーの流れと物質の循環のしくみ、生態系の保全について理解する。 東南アジア等に分布する熱帯多雨林における生物多様性を知り、気候条件との関係性を理解する。 	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
理科・生物基礎	工業科・商業科 3年	3	改訂版 新編 生物基礎 (数研出版)	リード Light ノート生物基礎(数研出版)
科目の概要と目標	1 現代生物学の基礎となる代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系といった基礎的な内容を、最先端の生物学を織り交ぜながら学習する。 2 生物の多様性の中から法則を導き、その中の法則に基づきながら共通性を見いだしていく。 3 観察・実験を通して自然を科学的に探求する能力を育てる。さらに、実験に対する目的、仮説、準備、方法、結果、考察、発展という手順に従ったレポートを作成する能力を育てる。 4 命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	生物の特徴 生物の多様性と共通性 生命活動とエネルギー 遺伝子とそのはたらき 生物と遺伝子 遺伝情報の分配 遺伝情報とタンパク質合成	<ul style="list-style-type: none"> 多様な生物の共通点 生物の共通性としての細胞 エネルギーと代謝 代謝に関わる酵素 生体内におけるエネルギー変換 ミトコンドリアと葉緑体の起源 正確に伝わる遺伝情報 DNA の構造 ゲノムと遺伝情報 細胞分裂と DNA の複製 細胞周期と DNA の複製 遺伝情報の流れ 転写 翻訳 遺伝子の発現と生命現象 	<ul style="list-style-type: none"> 生物の多様性と共通性について理解する。 多くの生物の細胞には核が含まれているが、核がない生物も身近にいることを知る。 エネルギーの通貨としての ATP について理解する。 酵素の性質を理解する。 ミトコンドリアが細胞呼吸の場となっていることを知る。 光合成においてデンプンが合成されるしくみを理解する。 遺伝子の本体としての DNA について理解する。 体細胞分裂に伴う DNA の複製について理解する。 染色体の構造について理解する。 核の中で、DNA が塩基の相補性に基づき複製されるしくみを理解する。 遺伝情報がタンパク質の合成という形で現れる過程を理解する。 DNA と RNA の構造について理解する。 mRNA のコドンがリボソームによりアミノ酸に翻訳されるしくみを理解する。 	
2	生物の体内環境の維持 体内環境 体内環境の調節 免疫	<ul style="list-style-type: none"> 体内環境の特徴 心臓と血液循環 体内環境を調節する器官 自律神経系による調節 内分泌系による調節 自律神経とホルモンによる協同作業 免疫 自然免疫 適応免疫 免疫とヒト 	<ul style="list-style-type: none"> 体液の循環や調節に関わる心臓・腎臓・肝臓などはたらきを理解する。 酸素解離曲線から、酸素とヘモグロビンの結合に影響する諸条件について理解する。 腎臓におけるろ過と再吸収のしくみを理解する。 自律神経とホルモンによる体内環境の調節のしくみを理解する。 異物の体内への侵入を防いだり、侵入した異物を排除したりするしくみを学ぶ。 ABO 式血液型の分類と、異型血液の輸血により凝集反応が引き起こされるしくみを理解する。 体内環境を保つ上で血液が重要な役割を果たしていることを理解する。 	
3	生物の多様性と生態系 植生の多様性と分布 気候とバイオーム 生態系とその保全	<ul style="list-style-type: none"> 植生と生態系 植生の遷移 地球上の植生分布 陸上のバイオーム 生態系でのエネルギーの流れ 生態系での物質の循環 生態系のバランスと保全 生物多様性の保全 	<ul style="list-style-type: none"> 生態系の成り立ちと植生の果たす役割を理解し、植生の遷移が生じるメカニズムを理解する。 気候条件の違いにもとづいて、さまざまなバイオームが成立する過程を知り、世界や日本におけるバイオームの分布について理解する。 生態系におけるエネルギーの流れと物質の循環のしくみ、生態系の保全について理解する。 東南アジア等に分布する熱帯多雨林における生物多様性を知り、気候条件との関係性を理解する。 	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
理科・地学基礎	普通科・1年	2	高等学校 地学基礎 (第一学習社)	ネオパルノート 地学基礎 (第一学習社)
科目の概要と目標	<p>・宇宙の誕生から太陽系の誕生、地球の誕生までを通して学ぶことにより、宇宙における地球の姿を理解する。また、宇宙から太陽系、および、地球の構造を体系的に学ぶことにより、科学的なものの見方、考え方を身につける。</p> <p>・地球の構造を科学的に捉え、プレートの運動から火山活動、地震の仕組みなどを総合的に学ぶ。また、地層や岩石と地質構造から、現在に至るまでの移り変わる地球の変化、地球環境と生物界の変遷を系統的に理解する。</p> <p>・地球の活動、大気と水の循環などによる自然の作用により地球環境がつくられることを学ぶ。そして、生物と環境とのかかわり、人間活動と地球環境の変化など、地球上のあらゆる環境に関する諸問題について考察する力を養う。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	宇宙における地球 ・宇宙の構成	宇宙の始まり、宇宙の広がり と銀河の分布	宇宙誕生から地球誕生までの流れを系統的に捉える。	
	・太陽	太陽の組成、太陽の構造、太陽の誕生と将来、太陽系の構造	地球誕生から現在の地球までの進化の過程を科学的に考える。	
	・太陽系の中の地球	太陽系及び惑星の誕生、地球型惑星、木星型惑星、惑星・衛星以外の天体、生命の惑星・地球	太陽系の構造と惑星の構造について、また、惑星・衛星以外の天体について、科学的に捉える。地球に生命が誕生し得た条件を科学的に考える。	
2	活動する地球 ・地球の姿	地球の形と大きさ、形、地表の姿、地球内部の層構造	地球の形、表面および内部の構造を科学的に捉える。	
	・火山活動と地震	大山脈の形成、火山の分布、日本の火山の分布、火山帯でのマグマの発生、火山の地形、火成岩の種類、地震が発生するしくみ、地震の動き	活動する地球について科学的に捉え、火山や地震のしくみを理解する。また、火山が作る地形についても科学的に理解する。	
	移り変わる地球 ・地層や岩石と地質構造 ・地球環境と生物界の変遷	地震の発生する地域、地層の形成、堆積岩、地殻の変動、変成岩、化石、地層の対比、地質時代の区分、相対年代と絶対年代、先カンブリア時代、古生代、中生代、新生代	地層や岩石と地質構造、および、化石による地質時代について、移り変わる地球との関連を学び、系統的に理解する。	
3	大気と海洋 ・地球の熱収支 ・大気と海洋の運動	大気構成、大気圏の特徴、対流圏での天気の変化、太陽放射と地球放射、地球の熱平衡、緯度によるエネルギー収支、大気の大循環、高気圧と低気圧、海洋の層構造、海洋の大循環	地球の熱収支、大気と海洋の構成と循環について科学的に考え、理解する。	
	地球の環境 ・地球環境の科学	大気と海洋の相互作用、地球温暖化、オゾン層の破壊と保護、エルニーニョとラニーニャ	大気と海洋の相互作用による地球環境について、科学的に捉える。	
	・日本の自然環境	季節の変化、自然景観、気象災害と防災、地震災害、地震予測と防災、火山災害と防災	季節の変化と自然環境、自然災害について、系統的に理解する。	

教科・科目	対象学科 ・学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・ 音楽Ⅰ	普通科(体育コース) 工業科、商業科 1学年	2	MOUSA1 (教育芸術社)	Music Navigation (音楽史・楽典・ノート)
科目の概要 と目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。			
学期	題材	学習内容・教材	到達度目標	
1	正しい発声を身に付けよう	・歌唱「翼をください」 「少年時代」 「夏の思い出」他	・積極的に歌唱活動に取り組み、歌曲がもつ曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせてイメージをもって表現を工夫することができる。	
	ボディー・パーカッションに挑戦しよう (発表による試験)	・ソルフェージュ(リズム) ・足踏み、手拍子を使ったアンサンブル活動 「Plymouth Rock」	・音符の名称と長さ、拍子の仕組みについて理解することができる。 ・各パートや全体のリズムに気をつけて、アンサンブル活動に取り組むことができる。	
	西洋音楽の鑑賞	・鑑賞 組曲「動物の謝肉祭」交響曲第9番「合唱付き」 ・ピアノによるさまざまな表現方法を聴き取る 「ピアノソナタ第23番」他	・作曲者の特徴と文化的・歴史的背景に関心を持ち主体的に取り組むことができる。 ・楽曲を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、表現上の効果との関わりを感じ取ることができる。	
	楽譜の仕組み(1) (筆記試験)	・日本語、ドイツ語による音名 ・音程	・日本語、ドイツ語による音名の読み方や音程の名称を理解することができる。 ・記譜上の決まりを理解し、表現活動に活用することができる。	
2	ヨーロッパの歌曲を歌おう (実技試験)	・イタリア歌曲の歌唱 「Caro mio ben」「我が太陽」 ・ドイツリート 「野ばら」	・芸術的な音楽表現のための発声や原語の特徴を理解し、歌唱表現を工夫することができる。 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、楽曲の特質や雰囲気を味わって鑑賞することができる。	
	和楽器に親しもう (実技試験)	・箏の演奏「さくら変奏曲」 「六段の調べ」 ・日本の伝統音楽の鑑賞 「みだれ(乱輪舌)」「鹿の遠音」	・和楽器に関心を持ち、基本的な奏法を身に付けて主体的に取り組むことができる。 ・和楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取ることができる。	
	舞台芸術に親しもう	・オペラの鑑賞「カルメン」 ・ミュージカルの鑑賞 「キャッツ」	・劇や物語と音楽の関わりに関心を持ち、意欲的に鑑賞活動に取り組むことができる。 ・複数の舞台芸術の映像を見て、表現の特徴を比較することができる。	
	楽譜の仕組み(2) (筆記試験)	・音階(長音階、短音階) 和音(長3和音) ・創作「音階を選んで旋律をつくろう」	・音階のしくみや和音の構造を理解することができる。 ・音階を選んで、簡単な旋律を創作することができる。	
3	日本歌曲を歌おう (実技試験)	・日本歌曲の歌唱 「この道」 「むこうむこう」	・曲想と歌詞の内容とのかかわりを感じ取り、自分なりのイメージをもって歌唱表現することができる。	
	サンバやゴスペルに親しもう	・器楽合奏「Brazil」 ・ゴスペル音楽の鑑賞 「Oh Happy Day」	・パートの役割や全体のハーモニーを意識することができる。 ・文化的・歴史的背景や演奏者による表現の特徴を理解し、そのよさや美しさを味わいながら鑑賞することができる。	
	世界の諸民族の音楽と民謡	・我が国の民謡の鑑賞 「江差追分」「八木節」 ・世界の諸民族の音楽の鑑賞 「京畿道アリラン」他	・世界の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解することができる。 ・民謡における声の特徴と表現上の効果に関心を持ち、主体的に鑑賞することができる。	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・美術 I	普通科・工業科・商業科・1学年	2	高校生の美術 1 <日本文教出版株式会社>	
科目の概要と目標	美術に関する専門的な学習を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美術体験を豊かにし、美術や美術文化と創造的に関わる資質・能力を育成することを目指す。			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	<p>○鑑賞 オリエンテーション 「美術とは何か」</p> <p>○表現 絵画（油彩画） [卓上の静物たち]</p> <p>○鑑賞</p>	<p>○今までを振り返り、高校の美術 I のイメージを持ち、美術の学びの意味や広がりについて理解する。</p> <p>○油絵の具の使い方を理解する。</p> <p>○自分でモチーフを選び、構図を検討し、自分らしさを表現する。</p> <p>○友達作品を鑑賞する。</p>	<p>○美術作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、また自然と美術とのかかわり、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて考え、理解できるようにする。</p> <p>○画面の中のバランスを考えてモチーフを配置し、構図をよく検討する。</p> <p>○モチーフをよく観察して、形をとらえ、立体感・遠近感・空間の表現を意識する。</p> <p>○絵の具の特性を知り、塗り重ねのよさと楽しさを理解する。</p> <p>○他の生徒作品を鑑賞することで、多様な表現や面白さに気づき、見方を深める。</p> <p>○それぞれの特性や個性を理解する。</p>	
2	<p>○表現 デザイン [自分の名前をロゴタイプにする]</p> <p>[自分のキャラクターをつくろう]</p> <p>○鑑賞</p>	<p>○美術やデザインの社会的役割について理解する。</p> <p>○文字のデザインの工夫を知り、情報やイメージを効果的に伝える文字を考える。</p> <p>○自分の持ち味や性格と外見的特徴を考え、形や色彩で表現する。</p> <p>○友達作品を鑑賞する。</p>	<p>○文字の表現の可能性を考え、より多くのアイデアを出す力を身に着ける。</p> <p>○望ましいイメージを演出し、人々の印象に残る表現活動を理解する。</p> <p>○単なる「かわいい」「かっこいい」キャラクターではなく、自分の持つ特徴や性格などを客観的に捉えイメージする。</p> <p>○自分の作品を分析し、他者の主題と表現意図や工夫の相違点を確認する。</p> <p>○それぞれの特性や個性を理解する。</p>	
3	<p>○表現 彫刻 [自分のキャラクターをつくろう]</p>	<p>○材料や用具の特性を生かして全体の形や構成、バランスを確認しながら粘土を付いたり、形を削り出す工夫をする。</p>	<p>○想定した特徴や性格などを、具体的な形や色彩にする方法について考える。</p> <p>○表したい感情のイメージを、形体と構成で表現するために、材料や用具の特性を生かしながら量感や質感の表現を工夫する。</p>	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・書道 I	普通科 工業科 商業科 1 学年	2	書 I (光村図書)	
科目の概要と目標	多くの古典や古筆に触れ、書の美の追求を図り感性を高める。書道の幅広い活動を通して、書の基礎的な能力を生かし自ら表現する能力を伸ばすとともに、書の効用や書の伝統と文化についての理解を深める。			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	オリエンテーション	書写から書道へ 書体の変遷	<ul style="list-style-type: none"> 書写と書道の相違点と関連性を理解し、書の実用性と芸術性を知ることができる。 現代までの漢字の姿の推移と書体の特徴を学び、字の成り立ちを理解することができる。 	
	漢字の書	楷書 「孔子廟堂碑」 「九成宮醴泉銘」 「雁塔聖教序」 「顔氏家廟碑」 「牛橛造像記」 「鄭羲下碑」	<ul style="list-style-type: none"> 古典の書美と表現技法に関心をもつことができる。 さまざまな楷書古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方、用筆法・運筆法を習得することができる。 古典の比較・鑑賞し書風の違いを捉え忠実に臨書することができる。 初唐の三大家と太宗の関係について知ることができる。 	
2		行書 「蘭亭序」 「風信帖」 草書 「真草千字文」 隸書 「曹全碑」 篆書 「泰山刻石」 篆刻	<ul style="list-style-type: none"> 行書の特徴について理解することができる。 代表的な行書の古典の鑑賞、臨書学習により各古典の特徴を把握し行書の用筆法を習得することができる。 草書の特徴を理解し、基本的な点画や線質の表し方、用筆法・運筆法を習得することができる。 身の回りにある隸書に気づき、その効果について考え隸書の特徴を理解し、隸書の表現に親しむ。 篆書の特徴を知り、篆書の表現に親しむことができる。 印と篆刻について知り、名前の印の刻し方を理解し自分の姓名印を完成することができる。 	
	仮名の書	仮名の成立と種類 古筆に見る仮名の表現方法 「蓬萊切」 「高野切第三種」	<ul style="list-style-type: none"> 仮名の成立と変遷・種類について理解することができる。 仮名の用具・用材と姿勢や執筆法を理解し基本用筆を習得することができる。 仮名の書の特質を平安時代の古筆の表現に学ぶことができる。 	
3		構成を学ぶ 「寸松庵色紙」 「升色紙」	<ul style="list-style-type: none"> 散らし書きのポイントをおさえ、さまざまな構成方法を習得することができる。 	
	漢字仮名交じりの書	イメージを文字で表現する	<ul style="list-style-type: none"> 漢字と仮名の調和した表現について理解し自由に表現する喜びを味わうことができる。 余白や文字の大小を工夫して自分なりの構成を作ることができる。 自らの思考や感動を表現できる語句を選び漢字と仮名の調和を図りながら、意図やねらいに合う古典を参考とし作品を創作することができる。 	
	生活の書		<ul style="list-style-type: none"> カレンダー制作や封筒の書式・履歴書の作成などの活動を通し、暮らしに生かせる書を学ぶことができる。 	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・美術 I	普通科・工業科・商業科・1学年	2	高校生の美術 1 <日本文教出版株式会社>	
科目の概要と目標	美術に関する専門的な学習を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美術体験を豊かにし、美術や美術文化と創造的に関わる資質・能力を育成することを目指す。			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	<p>○鑑賞 オリエンテーション 「美術とは何か」</p> <p>○表現 絵画（油彩画） [卓上の静物たち]</p> <p>○鑑賞</p>	<p>○今までを振り返り、高校の美術 I のイメージを持ち、美術の学びの意味や広がりについて理解する。</p> <p>○油絵の具の使い方を理解する。</p> <p>○自分でモチーフを選び、構図を検討し、自分らしさを表現する。</p> <p>○友達作品を鑑賞する。</p>	<p>○美術作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、また自然と美術とのかかわり、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて考え、理解できるようにする。</p> <p>○画面の中のバランスを考えてモチーフを配置し、構図をよく検討する。</p> <p>○モチーフをよく観察して、形をとらえ、立体感・遠近感・空間の表現を意識する。</p> <p>○絵の具の特性を知り、塗り重ねのよさと楽しさを理解する。</p> <p>○他の生徒作品を鑑賞することで、多様な表現や面白さに気づき、見方を深める。</p> <p>○それぞれの特性や個性を理解する。</p>	
2	<p>○表現 デザイン [自分の名前をロゴタイプにする]</p> <p>[自分のキャラクターをつくろう]</p> <p>○鑑賞</p>	<p>○美術やデザインの社会的役割について理解する。</p> <p>○文字のデザインの工夫を知り、情報やイメージを効果的に伝える文字を考える。</p> <p>○自分の持ち味や性格と外見的特徴を考え、形や色彩で表現する。</p> <p>○友達作品を鑑賞する。</p>	<p>○文字の表現の可能性を考え、より多くのアイデアを出す力を身に着ける。</p> <p>○望ましいイメージを演出し、人々の印象に残る表現活動を理解する。</p> <p>○単なる「かわいい」「かっこいい」キャラクターではなく、自分の持つ特徴や性格などを客観的に捉えイメージする。</p> <p>○自分の作品を分析し、他者の主題と表現意図や工夫の相違点を確認する。</p> <p>○それぞれの特性や個性を理解する。</p>	
3	<p>○表現 彫刻 [自分のキャラクターをつくろう]</p>	<p>○材料や用具の特性を生かして全体の形や構成、バランスを確認しながら粘土を付けたら、形を削り出す工夫をする。</p>	<p>○想定した特徴や性格などを、具体的な形や色彩にする方法について考える。</p> <p>○表したい感情のイメージを、形体と構成で表現するために、材料や用具の特性を生かしながら量感や質感の表現を工夫する。</p>	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育 ・ 体育	普通科 体育コース 1年女子	2	現代高等保健体育改訂版 (大修館書店)	Active Sports 2020 (大修館書店)
科目の概要 と目標	<p>体力向上の内容を重点化することによって、自ら進んで体力を高めようとすることができる。</p> <p>運動の合理的・計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動技能を運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる。</p> <p>自己の課題やチームの課題の解決を目指して工夫することができる。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	体育理論 体づくり運動 陸上競技 球技	スポーツの始まりと 変遷 体ほぐしの運動 体力を高める運動 短距離走・長距離走 バレーボール	人類とともに歩んでいるスポーツについて理解できる。技術戦術やルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い、変わり続けていることを理解する。 健康の増進や体力の向上に役立たせる事ができる。 記録向上の喜びや競走の楽しさを味わう事ができる。 集団的技能、個人的技能を身に付ける事ができる。 学習段階に応じた作戦を立て、ゲームができる。	
2	体育理論 体づくり運動 球技	文化としてのスポーツ オリンピックと国際理解 体力トレーニング 体ほぐしの運動 体力を高める運動 バasketボール テニス	健康の増進や体力の向上に役立たせる事ができる。オリンピックムーブメントとオリンピズム個人的技能を身に付ける事ができる。 運動の楽しさや心地よさを味わうことができる。 学習段階に応じた作戦を立て、ゲームができる。 勝敗を競う過程や結果に楽しさや喜びを味わう事ができる。	
3	体育理論 体づくり運動 球技 ダンス	スポーツと経済 ドーピング 体ほぐしの運動 体力を高める運動 Basketball 現代的なリズムのダンス	現代のスポーツの役割と経済的波及効果を理解する。ドーピングについて言ったり書きだしたりできる。 運動を継続する意義、運動の原則などが理解できる。 基本動作や対人的技能を身に付け、練習や試合ができる。 学習段階に応じた作戦を立て、ゲームができる。 全身で自由に踊ったり、仲間と対応したりして踊ることができる。	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育 ・ 体育	普通科 工業科 商業科 1年男子	3	現代高等保健体育改訂版 (大修館書店)	Active Sports 2021 (大修館書店)
科目の概要 と目標	<p>体力向上の内容を重点化することによって、自ら進んで体力を高めようとする事ができる。 運動の合理的・計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動技能を運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる 技能の習得を通して互いに相手を尊重する礼儀作法を身に付けることができる。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	体育理論 体づくり運動 陸上競技 球技	スポーツの始まりと変遷 体ほぐしの運動 体力を高める運動 短距離走・長距離走 ソフトボール	人類とともに歩んでいるスポーツについて理解できる。技術戦術やルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い、変わり続けていることを理解する。 健康の増進や体力の向上に役立たせる事ができる。 記録向上の喜びや競走の楽しさを味わう事ができる。 集団的技能、個人的技能を身に付ける事ができる。学習段階に応じた作戦を立て、ゲームができる。	
2	体育理論 体づくり運動 球技 武道	文化としてのスポーツ オリンピックと国際理解 体力トレーニング 体ほぐしの運動 体力を高める運動 サッカー バレーボール 剣道	健康の増進や体力の向上に役立たせる事ができる。オリンピックムーブメントとオリimpiズム個人的技能を身に付ける事ができる。 運動の楽しさや心地よさを味わうことができる。 学習段階に応じた作戦を立て、ゲームができる。勝敗を競う過程や結果に楽しさや喜びを味わう事ができる。 伝統を重んじた行動や考え方と対人競技の楽しさを味わう。	
3	体育理論 体づくり運動 球技	スポーツと経済 ドーピング 体ほぐしの運動 体力を高める運動 バasketボール	現代のスポーツの役割と経済的波及効果を理解する。ドーピングについて言ったり書きだしたりできる。 運動を継続する意義、運動の原則などが理解できる。 基本動作や対人的技能を身に付け、練習や試合ができる。 学習段階に応じた作戦を立て、ゲームができる。	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育 ・ 体育	普通科 体育コース 1年男子	2	現代高等保健体育改訂版 (大修館書店)	Active Sports 2021 (大修館書店)
科目の概要 と目標	<p>体力向上の内容を重点化することによって、自ら進んで体力を高めようとする事ができる。 運動の合理的・計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動技能を運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる 技能の習得を通して互いに相手を尊重する礼儀作法を身に付けることができる。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	体育理論 体づくり運動 陸上競技 球技	スポーツの始まりと変遷 体ほぐしの運動 体力を高める運動 短距離走・長距離走 ソフトボール	人類とともに歩んでいるスポーツについて理解できる。技術戦術やルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い、変わり続けていることを理解する。 健康の増進や体力の向上に役立たせる事ができる。 記録向上の喜びや競走の楽しさを味わう事ができる。 集団的技能、個人的技能を身に付ける事ができる。学習段階に応じた作戦を立て、ゲームができる。	
2	体育理論 体づくり運動 球技 武道	文化としてのスポーツ オリンピックと国際理解 体力トレーニング 体ほぐしの運動 体力を高める運動 サッカー バレーボール 剣道	健康の増進や体力の向上に役立たせる事ができる。オリンピックムーブメントとオリimpiズム個人的技能を身に付ける事ができる。 運動の楽しさや心地よさを味わうことができる。 学習段階に応じた作戦を立て、ゲームができる。勝敗を競う過程や結果に楽しさや喜びを味わう事ができる。 伝統を重んじた行動や考え方と対人競技の楽しさを味わう。	
3	体育理論 体づくり運動 球技	スポーツと経済 ドーピング 体ほぐしの運動 体力を高める運動 バasketボール	現代のスポーツの役割と経済的波及効果を理解する。ドーピングについて言ったり書きだしたりできる。 運動を継続する意義、運動の原則などが理解できる。 基本動作や対人的技能を身に付け、練習や試合ができる。 学習段階に応じた作戦を立て、ゲームができる。	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育 ・ 体育	普通科 体育コース 1年女子	2	現代高等保健体育改訂版 (大修館書店)	Active Sports 2020 (大修館書店)
科目の概要 と目標	<p>体力向上の内容を重点化することによって、自ら進んで体力を高めようとすることができる。</p> <p>運動の合理的・計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動技能を運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる。</p> <p>自己の課題やチームの課題の解決を目指して工夫することができる。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	体育理論 体づくり運動 陸上競技 球技	スポーツの始まりと 変遷 体ほぐしの運動 体力を高める運動 短距離走・長距離走 バレーボール	人類とともに歩んでいるスポーツについて理解できる。技術戦術やルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い、変わり続けていることを理解する。 健康の増進や体力の向上に役立たせる事ができる。 記録向上の喜びや競走の楽しさを味わう事ができる。 集団的技能、個人的技能を身に付ける事ができる。 学習段階に応じた作戦を立て、ゲームができる。	
2	体育理論 体づくり運動 球技	文化としてのスポーツ オリンピックと国際理解 体力トレーニング 体ほぐしの運動 体力を高める運動 バasketボール テニス	健康の増進や体力の向上に役立たせる事ができる。オリンピックムーブメントとオリンピズム個人的技能を身に付ける事ができる。 運動の楽しさや心地よさを味わうことができる。 学習段階に応じた作戦を立て、ゲームができる。 勝敗を競う過程や結果に楽しさや喜びを味わう事ができる。	
3	体育理論 体づくり運動 球技 ダンス	スポーツと経済 ドーピング 体ほぐしの運動 体力を高める運動 バasketボール 現代的なリズムのダンス	現代のスポーツの役割と経済的波及効果を理解する。ドーピングについて言ったり書きだしたりできる。 運動を継続する意義、運動の原則などが理解できる。 基本動作や対人的技能を身に付け、練習や試合ができる。 学習段階に応じた作戦を立て、ゲームができる。 全身で自由に踊ったり、仲間と対応したりして踊ることができる。	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
専門体育 ・ スポーツV	普通科 体育コース 1年	4		
科目の概要 と目標	<p>カヌーの推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付けることができる。</p> <p>カヌーにおける自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。</p> <p>カヌーの学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養うことができる。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	スポーツV (野外の活動)	カヌー	<p>記録の向上や競争の記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう。</p> <p>技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。</p> <p>各種目特有の技能を身に付け、効率的に動く。</p> <p>動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>「スポーツV」に自主的に取り組み、自己の責任を果たそうとする。</p> <p>ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保する。</p>	
2	スポーツV (野外の活動)	カヌー	<p>記録の向上や競争の記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう。</p> <p>技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。</p> <p>各種目特有の技能を身に付け、効率的に動く。</p> <p>動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>「スポーツV」に自主的に取り組み、自己の責任を果たそうとする。</p> <p>ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保する。</p>	
3	スポーツV (野外の活動)	カヌー	<p>記録の向上や競争の記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう。</p> <p>技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。</p> <p>各種目特有の技能を身に付け、効率的に動く。</p> <p>動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>「スポーツV」に自主的に取り組み、自己の責任を果たそうとする。</p> <p>ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保する。</p>	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
専門体育 ・ スポーツⅢ	普通科 体育コース 1年	4		
科目の概要 と目標	<p>自ら進んで競技力や体力を高めようとする事ができる。 武道及び諸外国の対人的競技等の多様な楽しさや喜びを深く味わうとともに、推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解し身に付ける事ができる。 自らや仲間とともに多角的な視点で課題を発見し、主体的に思考し判断したことを言葉・動作で表現することや道筋を立てて伝える力を養う事ができる。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	諸外国の対人的競技	フェンシング	<p>健康の増進や体力の向上に役立たせる事ができる。</p> <p>競技力向上の喜びや楽しさを味わう事ができる。</p> <p>基本動作や個人的技能を身に付ける事ができ、個人に応じた作戦を考え、実際に練習や試合ができる。</p>	
2	諸外国の対人的競技	フェンシング	<p>勝敗を競う過程や結果に楽しさや喜びを味わう事ができる。</p> <p>個人の競技力の段階に応じた作戦を考え、実際に練習や試合ができる。</p> <p>伝統を重んじた行動や考え方と対人競技として楽しさを味わう。</p>	
3	諸外国の対人的競技	フェンシング	<p>競技力を身に付け、勝敗を競う楽しさや喜びを味わう事ができる。</p> <p>身に付けた基本動作や個人的技能を活かし、対人的技能を実際に練習や試合で実践することができる。</p> <p>伝統を重んじた行動や考え方を身に付け、礼儀・言葉・動作で表現することができる。</p>	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
専門体育 ・ スポーツⅡ	普通科 体育コース 1年	4		
科目の概要 と目標	<p>球技は、それぞれの型に応じた攻防で個人やチームの能力に応じた作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝敗を競い合う特性がある。</p> <p>球技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。</p> <p>球技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>球技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	ゴール型球技 ネット型球技 ベースボール型球技	サッカー テニス 野球	<p>球技への「する・みる・支える・知る」などの多様な関わり方を理解する。</p> <p>文化的・社会的・経済的側面など多角的な視点での課題を発見し、主体的に思考・判断できる。</p> <p>ねらいを達成するために学習に対して主体的に取り組もうとしている。</p>	
2	ゴール型球技 ネット型球技 ベースボール型球技	サッカー テニス 野球	<p>選択した運動を個人や仲間とともに継続的に学び合う際に求められる事項を理解する。</p> <p>課題に対して主体的に思考・判断し、言葉や文章及び動作などで表現できる。</p> <p>自己や仲間の体力や技能の程度等に配慮するなど、健康・安全を確保することができる。</p>	
3	ゴール型球技 ネット型球技 ベースボール型球技	サッカー テニス 野球	<p>多様な志向及び体力や技能等の違いの中で球技を継続的に楽しむことができる技能を身に付ける。</p> <p>課題に対して主体的に思考・判断し、仲間や教師などに筋道を立てて理論的に伝えることができる。</p> <p>事故の危険性を未然に回避したりするなど健康・安全を確保することができる。</p>	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育 ・ 体育	普通科 工業科 商業科 2年女子	2	現代高等保健体育改訂版 (大修館書店)	アクティブスポーツ2020 (大修館書店)
科目の概要 と目標	運動についての科学的な理解を深め、運動の合理的な実践ができる。 運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	体育理論 体づくり運動 陸上競技 球技	スポーツの技術と戦術 技能の上達過程と練習 体力を高める運動 長距離走 ソフトボール バスケットボール サッカー バレーボール テニス	運動技能を高めるための練習法について理解させる。 健康の増進や体力の向上に役立たせる事ができる。 記録向上の喜びや競走の楽しさを味わう事ができる。 集団的技能、個人的技能を身に付ける事ができる。 学習段階に応じた作戦を立て、ゲームができる。	
2	体育理論 体づくり運動 球技	効果的な動きのメカニズム 技能と体力 体ほぐし運動 バレーボール バスケットボール バドミントン 卓球	記録・パフォーマンスを高めるために必要な事柄を学習する 運動の楽しさや心地よさを味わうことができる。 個人的技能を身に付ける事ができる。また学習段階に応じた作戦を立て、ゲームができる。 勝敗を競う過程や結果に楽しさや喜びを味わう事ができる。	
3	体育理論 体づくり運動 球技 ダンス	体力トレーニング 運動時の安全確保 体力を高める運動 バスケットボール 現代的なリズムのダンス	体力向上のメカニズムとトレーニング方法について学ぶ。 安全に楽しく運動やスポーツ活動を行うために必要な知識やスキルを身につける。 運動を継続する意義、運動の原則などが理解できる。 球技の特性や魅力に応じて、ゲームを展開するための作戦や状況に応じた技能を身につける。 ダンスの楽しさや喜びを味わうことができるよう、互いの良さを認め合おうとすることができる。	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育 ・ 体育	普通科 工業科 商業科 2年男子	2	現代高等保健体育改訂版 (大修館書店)	
科目の概要 と目標	運動についての科学的な理解を深め、運動の合理的な実践ができる。 運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	体育理論 体づくり運動 陸上競技 球技	スポーツの技術と戦術 技能の上達過程と練習 体力を高める運動 長距離走 ソフトボール バスケットボール サッカー バレーボール テニス	運動技能を高めるための練習法について理解させる。 健康の増進や体力の向上に役立たせる事ができる。 記録向上の喜びや競走の楽しさを味わう事ができる。 集団的技能、個人的技能を身に付ける事ができる。 学習段階に応じた作戦を立て、ゲームができる。	
2	体育理論 体づくり運動 球技	効果的な動きのメカニズム 技能と体力 体ほぐし運動 バレーボール バスケットボール バドミントン 卓球	記録・パフォーマンスを高めるために必要な事柄を学習する 運動の楽しさや心地よさを味わうことができる。 個人的技能を身に付ける事ができる。また学習段階に応じた作戦を立て、ゲームができる。 勝敗を競う過程や結果に楽しさや喜びを味わう事ができる。	
3	体育理論 体づくり運動 球技	体力トレーニング 運動時の安全確保 体力を高める運動 バスケットボール	体力向上のメカニズムとトレーニング方法について学ぶ。 安全に楽しく運動やスポーツ活動を行うために必要な知識やスキルを身につける。 運動を継続する意義、運動の原則などが理解できる。 球技の特性や魅力に応じて、ゲームを展開するための作戦や状況に応じた技能を身につける。	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
専門体育 ・ スポーツV	普通科 体育コース 2年	4		
科目の概要 と目標	<p>カヌーの推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付けることができる。</p> <p>カヌーにおける自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。</p> <p>カヌーの学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養うことができる。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	スポーツV (野外の活動)	カヌー	<p>記録の向上や競争の記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう。</p> <p>技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。</p> <p>各種目特有の技能を身に付け、効率的に動く。</p> <p>動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>「スポーツV」に自主的に取り組み、自己の責任を果たそうとする。</p> <p>ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保する。</p>	
2	スポーツV (野外の活動)	カヌー	<p>記録の向上や競争の記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう。</p> <p>技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。</p> <p>各種目特有の技能を身に付け、効率的に動く。</p> <p>動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>「スポーツV」に自主的に取り組み、自己の責任を果たそうとする。</p> <p>ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保する。</p>	
3	スポーツV (野外の活動)	カヌー	<p>記録の向上や競争の記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう。</p> <p>技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。</p> <p>各種目特有の技能を身に付け、効率的に動く。</p> <p>動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>「スポーツV」に自主的に取り組み、自己の責任を果たそうとする。</p> <p>ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保する。</p>	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
専門体育 ・ スポーツⅢ	普通科 体育コース 2年	4		
科目の概要 と目標	<p>自ら進んで競技力や体力を高めようとする事ができる。 武道及び諸外国の対人的競技等の多様な楽しさや喜びを深く味わうとともに、推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解し身に付けることができる。 自らや仲間とともに多角的な視点で課題を発見し、主体的に思考し判断したことを言葉・動作で表現することや道筋を立てて伝える力を養うことができる。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	諸外国の対人的競技	フェンシング 剣道	<p>健康の増進や体力の向上に役立たせる事ができる。</p> <p>競技力向上の喜びや楽しさを味わう事ができる。</p> <p>身に付けた基本動作や個人的技能を個人に応じた作戦を考え、実際に練習や試合ができる。</p>	
2	諸外国の対人的競技	フェンシング 剣道	<p>勝敗を競う過程や結果に楽しさや喜びを味わう事ができる。</p> <p>個人の競技力の段階に応じた作戦を考え、実際に練習や試合ができる。</p> <p>伝統を重んじた行動や考え方と対人競技として楽しさを味わう。</p>	
3	諸外国の対人的競技	フェンシング 剣道	<p>競技力を身に付け、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができる。</p> <p>身に付けた基本動作や個人的技能を活かし、対人的技能を実際に練習や試合で実践することができる。</p> <p>伝統を重んじた行動や考え方を身に付け、礼儀・言葉・動作で表現することができる。</p>	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
専門体育 ・ スポーツⅡ	普通科 体育コース 2年	4		
科目の概要 と目標	<p>球技は、それぞれの型に応じた攻防で個人やチームの能力に応じた作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝敗を競い合う特性がある。</p> <p>球技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。</p> <p>球技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>球技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	ゴール型球技 ネット型球技 ベースボール型球技	サッカー テニス 野球	<p>球技への「する・みる・支える・知る」などの多様な関わり方を理解する。</p> <p>文化的・社会的・経済的側面など多角的な視点での課題を発見し、主体的に思考・判断できる。</p> <p>ねらいを達成するために学習に対して主体的に取り組もうとしている。</p>	
2	ゴール型球技 ネット型球技 ベースボール型球技	サッカー テニス 野球	<p>選択した運動を個人や仲間とともに継続的に学び合う際に求められる事項を理解する。</p> <p>課題に対して主体的に思考・判断し、言葉や文章及び動作などで表現できる。</p> <p>自己や仲間の体力や技能の程度等に配慮するなど、健康・安全を確保することができる。</p>	
3	ゴール型球技 ネット型球技 ベースボール型球技	サッカー テニス 野球	<p>多様な志向及び体力や技能等の違いの中で球技を継続的に楽しむことができる技能を身に付ける。</p> <p>課題に対して主体的に思考・判断し、仲間や教師などに筋道を立てて理論的に伝えることができる。</p> <p>事故の危険性を未然に回避したりするなど健康・安全を確保することができる。</p>	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
専門体育 ・ スポーツ I	普通科 体育コース 2年	4		
科目の概要 と目標	測定競技の推進、発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。 測定競技における課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 測定競技の学習に主体的に取り組み、健康・安全を確保する。			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	スポーツ I (採点競技及び測定 競技)	陸上競技 水泳競技 (水球)	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう。 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。 各種目特有の技能を身に付け、効率的に動く。 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。 「スポーツ I」に自主的に取り組み、自己の責任を果たそうとする。 ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保する。	
2	スポーツ I (採点競技及び測定 競技)	陸上競技 水泳競技 (水球)	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう。 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。 各種目特有の技能を身に付け、効率的に動く。 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。 「スポーツ I」に自主的に取り組み、自己の責任を果たそうとする。 ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保する。	
3	スポーツ I (採点競技及び測定 競技)	陸上競技 水泳競技 (水球)	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう。 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。 各種目特有の技能を身に付け、効率的に動く。 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。 「スポーツ I」に自主的に取り組み、自己の責任を果たそうとする。 ルールやマナーを大切にし、健康・安全を確保する。	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育 ・ 体育	普通科 工業科 商業科 3年男子	2	現代高等保健体育改訂版 (大修館書店)	
科目の概要 と目標	運動についての科学的な理解を深め、運動の合理的な実践ができる。 運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる 技能の習得を通して互いに相手を尊重する礼儀作法を身に付けることができる。			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	体育理論 体づくり運動 陸上競技 球技	生涯スポーツの見方・ 考え方、 ライフスタイルに応じ たスポーツ 体力トレーニングの方 法と内容 体力を高める運動 長距離走 ソフトボール バスケットボール サッカー バレーボール テニス	スポーツの役割の変化や重要性について理解 させる。 スポーツを生活の中に上手く位置づける方法 について理解させる。 体力測定の意義及び体力の向上を図る運動を 理解させる。 記録向上の喜びや競走の楽しさを味わう事がで きる。 集団的技能、個人的技能を身に付ける事がで きる。 学習段階に応じた作戦を立て、ゲームができ る。	
2	体育理論 体づくり運動 球技	日本のスポーツ振興 スポーツと環境 体力を高める運動 バスケットボール バレーボール バドミントン 卓球	スポーツ振興のために行われている条件整備に ついて理解し、スポーツと環境の調和について どのようにしていけば良いかを考えさせる。 個人的技能を身に付ける事ができる。 学習段階に応じた作戦を立て、ゲームができ る。 勝敗を競う過程や結果に楽しさや喜びを味わ う事ができる。	
3	体育理論 体づくり運動 球技	日本のスポーツ振興 体ほぐしの運動 バスケットボール バドミントン 卓球	スポーツ振興のための施策と諸条件について 理解したことを言うことができる。 基本動作や対人的技能を身に付け、練習や試 合ができる。 生涯スポーツにつながるような、企画・実践 ・ふり返りが自分でできる。	

教科・科目	対象学科 ・学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育 ・ 保健	普通科 工業科 商業科 ・ 1年	1	現代高等保健体育改訂版 (大修館書店)	現代高等保健体育ノート改訂版 (大修館書店)
科目の概要 と目標	現代社会における健康やその対策の考え方が変化していることを理解する。 生活習慣病や喫煙、飲酒、薬物乱用、エイズなどの問題に対応する必要があることを理解する。また、適切な意思決定と行動選択が重要となることを理解する。 ストレスに適切に対処することや自己実現を図る努力が必要であることを理解する。 交通事故を防ぐためには適切な行動や交通環境の整備が重要であることを理解する。 障害や疾病に際して応急手当を適切に行うことが重要であることを理解する。			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	現代社会と健康	私たちの健康のすがた 健康のとらえ方 健康と意思決定・行動 選択 健康に関する環境づくり 生活習慣病とその予防 食事・運動・休養・睡 眠と健康 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康	健康の考え方やその保持増進の方法が変化してきていることを理解する。 健康に関する個人の適切な意思決定や行動選択が重要であることを理解する。 生活習慣病を予防するために必要なことを理解する。 食事・運動・休養・睡眠が健康と密接に関係していることを理解する。 喫煙・飲酒・薬物乱用が健康に与える悪影響について理解し、個人はもとより、社会全体で対応していくことが重要であることを理解する。	
2	現代社会と健康	現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその 予防 欲求と適応機制 心身の相関とストレス ストレスへの対処 心の健康と自己実現	感染症の予防には、適切な対策が必要であることを理解する。 性感染症やエイズから身を守るために個人の適切な意思決定や行動選択が重要であることを理解する。 精神の健康を保持増進するためには、欲求やストレスに適切に対処する必要があることを理解する。 自己実現の大切さと意義について理解する。	
3	現代社会と健康	交通事故の現状と要因 交通社会における運転 者の資質と責任 安全な交通社会づくり 応急手当の意義とその 基本 心肺蘇生法 日常的な応急手当	交通事故を防止するための必要な事柄を理解する。 応急処置には正しい手順や方法があることを理解する。 障害や疾病に際して心肺蘇生法などの手当てを行うことが重要であることを理解する。	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育 ・ 保健	普通科 工業科 商業科 ・ 2年	1	現代高等保健体育改訂版 (大修館書店)	現代高等保健体育ノート改訂版 (大修館書店)
科目の概要 と目標	思春期から結婚、妊娠、出産までの健康について理解する。 性意識の男女差、適切な性行動の選択について理解する。 中高年期の健康及び各段階で必要となる保健・医療サービスの活用方法を理解する。 健康に関連する環境問題について理解する。 健康に関連する食品問題について理解する。 働くことと健康との関係について理解する。			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	生涯を通じる健康	思春期と健康 性意識と性行動の選択 結婚生活と健康 妊娠・出産と健康 家族計画と人工妊娠中絶	思春期における体の発達、行動面、心理面の特徴を理解する。 性意識の男女差、性的欲求のあらわれかたの違いを理解する。 受精・妊娠・出産の過程や本人及び周囲の人々が留意する点を理解する。	
2	生涯を通じる健康 社会生活と健康	加齢と健康 高齢者のための社会的取り組み 保健制度とその活用 医療制度とその活用 医薬品と健康 さまざまな保健活動や対策 大気汚染と健康 水質汚濁・土壌汚染と健康 健康被害の防止と環境対策 環境衛生活動のしくみと働き	加齢にともなう心身の変化について、形態面・機能面などを理解する。 医療保険の仕組み、医療機関の選び方について理解する。 医薬品について理解する。 大気汚染、水質汚濁、土壌汚染はどのようにおこり、健康にどう影響するか理解する。 ごみ処理の過程、上下水道の整備、その問題点と対策について理解する。	
3	社会生活と健康	食品衛生活動のしくみと働き 食品と環境の保健と私たち 働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活	食品の衛生管理、食品の安全性を確保するための対策について理解する。 働くことと健康が相互に影響することを理解する。 職場、日常生活での健康増進対策について理解する。	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
社会と情報	2 学年 普通科	2	社会と情報 Next (数研出版)	社会と情報 Next サポートノート (数研出版)
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> 情報の特徴や情報社会がもたらした社会の変化について理解し、情報の取捨選択や発信に伴う責任や個人情報の保護、セキュリティの維持、著作権の保護などを意識することができる。 メディアリテラシーについて実践的に理解し、表現方法を工夫することができる。 コンピュータ、ネットワークの仕組みと働きについて理解することができる。 コンピュータを用いて、課題を解決する課題を通して、基本的な情報処理技術を身につけることができる。 			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	序編 情報とメディア 第1章 情報とメディアの特徴 第2章 コンピュータの活用 第1編 情報社会と情報モラル 第1章 人・社会とのかかわり 第2章 技術とのかかわり 第3章 法とのかかわり	情報の特徴 情報の表現形式 デジタル情報の特徴 ハードウェア ソフトウェア インターネットでの情報検索 情報社会が人に及ぼす影響 インターネットの活用 電子メールの活用 ネットトラブル ネット詐欺 情報セキュリティ 情報セキュリティの確保 情報の暗号化 安全にコンピュータを利用する 知的財産権 著作権 個人情報	<ul style="list-style-type: none"> 情報とは何か、情報の信頼性とは何かを理解する。 情報によって適した表現方法(メディア)が異なり、メディア変換が可能なことを理解する。 コンピュータの基本的なしくみとはたらきを理解する。 サーチエンジンの意味と使い方を理解し、インターネットの情報検索の実際を学ぶ。 インターネットの特性とおもなコミュニケーションツール、電子メールの特徴と注意点を理解する。 ネットトラブルなどを踏まえ、情報セキュリティの重要性を認識し、情報セキュリティポリシーやソーシャルエンジニアリングについて学ぶ。 情報セキュリティを脅かす事例とコンピュータウイルスとその対策の具体例を学ぶ。 情報セキュリティの確保の方法、暗号やデジタル署名について学ぶ。 著作権と産業財産権の保護の必要性、著作権法がどのようなものか具体的に学ぶ。 個人情報保護の重要性を理解させ、肖像権・プライバシー権についても学ぶ。 	
2	第2編 デジタル情報と情報の活用 第1章 情報のデジタル表現 第2章 情報の表現と伝達 第3編 情報通信ネットワーク 第1章 コミュニケーション手段の発達 第2章 インターネットのしくみ	デジタル情報の表し方 デジタル表現 データの圧縮 情報の発信とその注意点 表現の工夫 プレゼンテーションの流れ、注意点 プレゼンテーションソフトウェアの利用 通信とその進展 マスコミュニケーション コンピュータによる通信 通信プロトコル パケット通信 通信の信頼性 IP アドレスとドメイン名 WWW と電子メール	<ul style="list-style-type: none"> ビットの概念、コードとコード化を理解させ、それを表現するための2進数について学び、さらに2進数を用いた数のデジタル表現、文字のデジタル表現を学ぶ。 デジタル情報ならではのデータ圧縮の原理と具体例について学ぶ。 プレゼンテーションの流れと注意点を理解させ、プレゼンテーションソフトウェアの利用方法を身につけさせ、情報発信の実践力を養う。 通信技術の進展について、古代からの技術的な進歩を概観し、コンピュータによる通信の特徴を学ぶ。また、コンピュータネットワークの具体例を学ぶ。 コンピュータでの通信の基本的な方式やプロトコルについて理解し、インターネットでの通信の原理を学ぶ。 	
3	第4編 望ましい情報社会の構築 第1章 情報社会における問題解決 第2章 情報システム	問題解決 表計算ソフトウェアの利用 社会における情報システム 情報システムと人間	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決のプロセス(PDCA サイクル)を具体例をもとに理解する。 表計算ソフトウェアの利用法を理解し、問題解決の手段として活用できるようにする。 社会における情報システムの種類や特徴を理解する。 	

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
家庭 家庭基礎	普・1年 工・商2年	2	家庭基礎（第一学習社） ともに生きる・持続可能な未来をつくる	最新生活ハンドブック（第一学習社）
科目の概要 と目標	家族や生活の営みを人の人一生とかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活の在り方、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立と健康のための衣食住、消費者生活と環境などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てることを目標とする。			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	「家庭基礎」の学習について		・学習の意義や内容・方法・評価について理解する。	
	(1) 食べる 食生活の自立と健康・安全	・栄養と食事 ・食品と調理(調理実験実習を授業全体の1/2時間実施)	・食べることの役割を認識し、青年期と各ライフステージの栄養的特徴について理解する。 ・食品の栄養的特質と調理上の性質について理解し、目的を明確にした調理実習を通して調理技術を習得する	
	(2) これからの生き方と家族	・これからの自分の人生 ・青年期の自立	・生涯発達の視点で各ライフステージの特徴と課題について理解する。	
	(3) 共生社会と福祉	・人生の課題と意思決定 ・家族・家庭と社会的支援 ・共生とコミュニティ	・生涯を見通した中で、生活課題に対応した意志決定をして、青年期の具体的な生き方を考える。	
	ホームプロジェクト計画		・夏休みを利用して、各自家庭の中での問題点や課題をみつけ、テーマを決める。	
2	ホームプロジェクト発表		・夏休み中に実践したことを発表する。	
	(4) 装う 衣生活の自立と管理・計画	・被服実習 (トートバック製作) ・人の一生と被服 ・被服材料と管理	・簡単な手縫いやボタン付け、ミシンの基礎縫いができる。 ・社会的習慣への適応などの社会的機能を理解し、被服材料の性能や被服の構成とのかかわりが、深いことを理解できる。 ・被服の入手、洗濯、保管など、衣生活を自ら管理する知識と技術を習得する。	
	(5) 住まう 住生活の自立と健康・安全	・ライフステージと住まい ・快適で安全な住まい ・住まいの環境	・生涯発達の視点で、家族の生活に応じた適切な住居の計画や選択ができる。 ・安全で健康かつ快適な住居や耐久性の高い住居を選択するために、必要な住居の機能について理解する。 ・地域コミュニティと共生できる住居の在り方などについて考える。	
	(6) 経済生活を営む	・生活に必要な費用と管理 ・将来を見通した経済計画	・生活の基盤としての家計管理の重要性や家計と経済のかかわりについて理解する。 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考える。	
3	(7) 次世代をはぐくむ	・子どもとかかわる ・子どもの育つ環境	・子どもの心身の発達と生活、親の役割と保育について理解できる。 ・子どもの育つ環境について理解し、現状の課題について考える。	
	(8) 充実した生涯へ	・高齢期の生活と課題 ・高齢者とかかわる (学校家庭クラブ活動) ・高齢社会を生きる	・高齢期の身体的および心理的特徴について理解し、現状の課題について考える。 ・身近な高齢者から生きがい、社会参加などを、聞き取ったりするなどの活動を通して具体的に考える。 ・超高齢社を迎えている現状と課題について理解する。	
	(9) 経済生活を営む	・社会の変化と消費者問題 ・消費者の権利と責任	・消費者問題発生の社会的背景について考え、消費者保護に関する施策について理解する。	
	(10) ライフスタイルと環境	・消費生活と環境とのかかわり	・家庭の機能が変化していることを理解し、これからの家庭生活や家族のあり方について考える。	
	(11) 生活をデザインしよう	・これからの自分の一生を考える。	・生活時間や進路選択など、高校生期の課題について検討し、将来への目標を考える。	

備考 1クラス2班編制で授業を行い、1学期と2学期で分野を交替する。

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
家庭 家庭総合	工業科3年 商業科3年	2	家庭総合 (第一学習社) ともに生きる・持続可能な未来をつくる	最新 生活ハンドブック (第一学習社)
科目の概要 と目標	人の一生の発達を見通し、自分らしく生きる、人とかかわって生きる、生活をつくるというテーマで学習をする。その中で、生活の営みを人の一生とかかわらせて総合的にとらえし、男女が協力し自分から進んで生活を創造する態度や、自立した生活者として実践的な態度を養うことを目標とする。			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	2章 次世代をはぐくむ	青年期を生きる 子どもの世界 子どもの発達と生活 〈保育所見学〉 親と社会の役割と保育 子育て支援と福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の特徴と課題について理解できる。 ・自分の成長を振り返り、子ども独特の世界観を知る。 ・乳幼児の心身の発達の特徴と遊びの意義を理解できる。 ・保育所見学を通して、子どもと適切にかかわることができる。(学校家庭クラブ) ・人間の成長・発達に欠かせない家庭や社 <ul style="list-style-type: none"> ・変化する子どもの環境を理解し、子育て支援の必要性や福祉サービスについて調べる。環境について考えることができる。 	
2	3章 充実した生涯へ 4章 ともに生きる	高齢期を生きる 高齢社会の現状と課題 高齢者の自立支援と福祉 人間の尊厳と介護 支えあうしくみと福祉への参加 〈デイサービスセンター見学〉 現代家族の特徴 これからの家族・家庭 社会保障制度と社会福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢期の生きがいと就労・社会参加について現状を知り理解する。 ・加齢に伴う心身の変化と特徴を理解する。 ・社会福祉の現状と課題を検討する。 ・高齢者介護の心構えやコミュニケーションの重要性を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉サービスについて理解できる。 ・地域における福祉システムについて調査し検討する。(学校家庭クラブ) <ul style="list-style-type: none"> ・家庭・家族について考え、これからの自分の家族像について考えることができる。 ・日本の社会保障制度が社会保険と社会福祉から成り立っていることを知り、その内容を理解する。 	
3	5章 経済生活を営む 1章 これからの生き方と家族	将来のために経済計画 ・私たちの暮らしと経済 ・消費生活と環境問題 家庭・家族と社会のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的に自立するための家計管理や長期的な生活設計の重要性を理解できる。 ・便利な暮らしと環境問題の関係を理解し、自分のライフスタイルを見直す。 <ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭の機能について理解し、現代の家族・家庭がどのような問題を抱えているか理解する。 ・家族に関する法律を理解する。 ・家族が生活していくためにはどのくらいお金が必要か知り、管理できるようにする。 ・生活設計を立案し、自分自身の生き方を考える。 	

教科・科目		対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
外国語・ コミュニケーション英語 I		普通科・1年	4	My Way English Communication I	My Way English Communication I advanced WORKBOOK New Edition 自主製作プリント
科目の概要と目標		<p>文型の基本や、基礎的な文法事項を理解し、言語活動で利用できる。 英文を書いたり、話したりすることを通じて、断片的に自分の考えを表現することができる。 関係詞や基本的な文型等の文法事項を理解し、言語活動で利用できる。 英文を読み、言語活動で学習事項を活用できる。異文化に関する理解を深める。 構文の使い方や、完了形等の基本的な理解を行い、言語活動で利用できる。 ある程度の量のある英文を用い、英語を理解しながら、自分の考えをある程度伝えられるようになる。</p>			
学期	単元	学習内容		到達度目標	
1	Starter A story about Names	<ul style="list-style-type: none"> ・中学既習の文法事項を復習する。 ・姓名の順、姓の成り立ち、姓のない国など、名前をめぐる世界の状況について学ぶ。 ・各国の姓の成り立ちなどの特徴など学ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本事項を確実に復習させる。 ・各国における名前をめぐる事情の違いについて認識を深めさせる。 ・名前と文化の関係を考えさせる。 	
	Messages from Yanase Takashi Hope for Peace in the Moomin series	<ul style="list-style-type: none"> ・やなせたかしさんがアンパンマンを通して私たちに残したメッセージを通じて、平和を考える。 ・ムーミンシリーズ創作の背景について学ぶ。 ・英語と日本語の語順の違いを意識する。 ・「相づちをうつ」「ほめる」表現を学ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・真のヒーロー像について考えさせる。 ・平和、幸福について考えさせる。 ・児童文学に込められた平和へのメッセージを学ぶ。 ・語順の違いを意識させ、定着させる。 ・学習した表現を使い、会話をさせる。 	
	Purposes of the Olympics The Slowest Olympian	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックの歴史(古代・近代)とオリンピックの問題点、その意義について学ぶ。 ・記録を競うオリンピックにおいて、一番遅い記録とはどのようなものか学ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックを通して国際交流への関心を高める。 ・オリンピックにはさまざまなエピソードがあることを学ぶ。 	
	Hospital Art	<ul style="list-style-type: none"> ・病院に設置されている芸術作品から、人々を癒すことができる芸術の力を学ぶ。 ・日本独自のユニークな芸術について学ぶ。 ・過去分詞を使った文法事項を整理する。 ・「注意を引く」「理由を述べる」表現を学ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・病院における芸術を鑑賞させる。 ・芸術の効果について考えさせる。 ・過去分詞を使ったそれぞれの表現の共通点と違いを意識させる。 ・学習した表現を使いスピーチさせる。 	
2	Writing Systems in the World A New Style of Calligraphy	<ul style="list-style-type: none"> ・世界のさまざまな文字やその成り立ち、書き方について学ぶ。 ・「英漢字」について学び、新しい芸術のあり方を考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・世界の言語や文字についての認識を深めさせる。 ・文字を持つ言語と持たない言語の違いについて考えさせる。 	
	Washoku—Traditional Japanese Dishes—	<ul style="list-style-type: none"> ・無形文化遺産に登録された和食の特徴について、食文化を守る取り組みについて考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・和食の特徴についての説明文を的確に読み取らせる。 ・調理方法を的確に読み取らせる。 ・学習した表現を使い、会話をさせる。 	
	From Landmines to Herbs	<ul style="list-style-type: none"> ・地雷跡地に作られたハーブ畑で、ハーブ製品を作り、ビジネスを始めた篠田ひろさんの活動について学ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地雷問題とその跡地活用について認識を深めさせる。 ・地雷探知犬と、日本の技術活用についての認識を深める。 ・強弱を意識して発話させる。 	
	A Mysterious Object from the Past	<ul style="list-style-type: none"> ・古代の遺物を通じて、人類の文明について考える。 ・古代の黄金細工の謎について考える。 ・～ingを使った表現を整理する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・未知の物体への興味を持たせる。 ・文明の発達について考えさせる。 ・黄金細工の正体について想像させる。 	
3	Sesame Street	<ul style="list-style-type: none"> ・セサミストリートを通じて、平等と多様性や各国が抱えている諸状況について学ぶ。 ・世界におけるドラえもんの展開の広がりを学ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・平等や多様性という概念を理解させる。 ・各国が抱えている諸状況について認識を深めさせる。 ・なぜドラえもんが世界各国で人気があるのかを考えさせる。 	
	Heritages of Beatrix Potter	<ul style="list-style-type: none"> ・ビアトリクス・ポターの生き方を学び、環境保護について考える。 ・未来の天気予報を読み取り、直面している環境問題について考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ポターの湖水地方への思いを的確に読み取らせる。 ・環境保護のために自分にできることを考えさせる。 ・天気予報を的確に読み取らせる。 ・環境のためにできることを考えさせる。 	

教科・科目		対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
外国語・ コミュニケーション英語 I		くすり・バイオ科 情報・デザイン科 1年	3	My Way English Communication I	My Way English Communication I standard WORKBOOK New Edition 自主製作プリント
科目の概要と目標		<p>文型の基本や、基礎的な文法事項を理解し、言語活動で利用できる。 英文を書いたり、話したりすることを通じて、断片的に自分の考えを表現することができる。 関係詞や基本的な文型等の文法事項を理解し、言語活動で利用できる。 英文を読み、言語活動で学習事項を活用できる。異文化に関する理解を深める。 構文の使い方や、完了形等の基本的な理解を行い、言語活動で利用できる。 ある程度の量のある英文を用い、英語を理解しながら、自分の考えをある程度伝えられるようになる。</p>			
学期	単元	学習内容		到達度目標	
1	Starter A story about Names	<ul style="list-style-type: none"> ・中学既習の文法事項を復習する。 ・姓名の順、姓の成り立ち、姓のない国など、名前をめぐる世界の状況について学ぶ。 ・各国の姓の成り立ちなどの特徴など学ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本事項を確実に復習させる。 ・各国における名前をめぐる事情の違いについて認識を深めさせる。 ・名前と文化の関係を考えさせる。 	
	Messages from Yanase Takashi	<ul style="list-style-type: none"> ・やなせたかしさんがアンパンマンを通して私たちに残したメッセージを通じて、平和を考える。 ・英語と日本語の語順の違いを意識する。 ・「相づちをうつ」「ほめる」表現を学ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・真のヒーロー像について考えさせる。 ・平和、幸福について考えさせる。 ・児童文学に込められた平和へのメッセージを学ぶ。 ・語順の違いを意識させ、定着させる。 ・学習した表現を使い、会話をさせる。 	
	Purposes of the Olympics	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックの歴史(古代・近代)とオリンピックの問題点、その意義について学ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックを通して国際交流への関心を高める。 ・オリンピックにはさまざまなエピソードがあることを学ぶ。 	
	Hospital Art	<ul style="list-style-type: none"> ・病院に設置されている芸術作品から、人々を癒すことができる芸術の力を学ぶ。 ・日本独自のユニークな芸術について学ぶ。 ・過去分詞を使った文法事項を整理する。 ・「注意を引く」「理由を述べる」表現を学ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・病院における芸術を鑑賞させる。 ・芸術の効果について考えさせる。 ・過去分詞を使ったそれぞれの表現の共通点と違いを意識させる。 ・学習した表現を使いスピーチさせる。 	
2	Writing Systems in the World	<ul style="list-style-type: none"> ・世界のさまざまな文字やその成り立ち、書き方について学ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・世界の言語や文字についての認識を深めさせる。 ・文字を持つ言語と持たない言語の違いについて考えさせる。 	
	Washoku—Traditional Japanese Dishes—	<ul style="list-style-type: none"> ・無形文化遺産に登録された和食の特徴について、食文化を守る取り組みについて考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・和食の特徴についての説明文を的確に読み取らせる。 ・調理方法を的確に読み取らせる。 ・学習した表現を使い、会話をさせる。 	
	From Landmines to Herbs	<ul style="list-style-type: none"> ・地雷跡地に作られたハーブ畑で、ハーブ製品を作り、ビジネスを始めた篠田ちひろさんの活動について学ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地雷問題とその跡地活用について認識を深めさせる。 ・強弱を意識して発話させる。 	
	A Mysterious Object from the Past	<ul style="list-style-type: none"> ・古代の遺物を通じて、人類の文明について考える。 ・～ing を使った表現を整理する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・未知の物体への興味を持たせる。 ・文明の発達について考えさせる。 	
3	Sesame Street	<ul style="list-style-type: none"> ・セサミストリートを通じて、平等と多様性や各国が抱えている諸状況について学ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・平等や多様性という概念を理解させる。 ・各国が抱えている諸状況について認識を深めさせる。 	
	Heritages of Beatrix Potter	<ul style="list-style-type: none"> ・ビアトリクス・ポターの生き方を学び、環境保護について考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ポターの湖水地方への思いを的確に読み取らせる。 ・環境保護のために自分にできることを考えさせる。 ・環境のためにできることを考えさせる。 	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
工業・工業技術基礎	工業科・1年	2	工業技術基礎（実教出版）	工業技術基礎（富山北部高校工業科テキスト）
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実習で使う実習器具の名称や取り扱い方を学び、正しい操作法を身につける。 ・きまりや注意事項を守り、安全に気を配り、積極的に実習に取り組む姿勢を養う。 ・実習でよく使う試薬の性質を知り、安全に配慮しながら、正しく取り扱い実験できる。 ・顕微鏡を正しい操作法を身につけ、観察することができる。 ・定性分析の手順を学び、実験結果を正しく処理し、未知試料の成分を知ることができる。 			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	実習を行うにあたっての心構え レポートの書き方 ガラス器具の洗浄 ガスバーナーの使い方 攪拌棒の製作 スポイドの製作 顕微鏡 ミクロメータの計算	<ul style="list-style-type: none"> ・実験を行うに当たり諸注意、安全指導 ・レポートの書き方 ・実験器具の名称 ・ガラス器具の洗いか ・ガスバーナーの構造と使用方法 ・ガラス棒の切断と加工 ・ガラス管の切断と加工 ・顕微鏡の扱い方 ・ミクロメータの使い方 ・タマネギの表皮細胞の大きさを測定し、計算する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身なりを整え、注意事項を守り、安全に実習に取り組ませる。 ・火気の使用に際し、怪我や火災に注意する。 ・顕微鏡の使い方を理解させる。 ・ミクロメータの使い方を理解させる。 ・ミクロメータの使い方を習得させ、計算ができるか確認する。 	
2	ろ過 よく使用される酸・アルカリ 塩の加水分解 中和滴定曲線 天秤の使い方 液量計の使い方 微生物実験	<ul style="list-style-type: none"> ・ろ紙の折り方を紹介し、練習する。 ・四つ折りを使つたろ過を比較する。 ・よく使用される酸・アルカリの性質を調べる。 ・塩から酸、塩基を遊離させる。 ・pHと指示薬の色の変化を観察する。 ・中和滴定曲線を作成させる。 ・自動上皿天秤の使い方 ・液量計の種類と目盛りの読み方 ・一般細菌数試験 ・空中落下細菌数試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ろ紙の折り方、ろ過の仕方を確認する。 ・酸・アルカリを取り扱う際の注意点を確認する。 ・塩の加水分解について理解させる。 ・中和点を見極めさせる。 ・中和滴定曲線が書けるか、確認する。 ・天秤のしくみを理解し、正しく質量を測定できるようにする。 ・メニスカスを正しく読むことができるようにする。 ・微生物実験の特徴を理解する。 ・滅菌法、培地作成、サンプリング方法を確認する。 	
3	試薬の調製 第一属イオンの分析	<ul style="list-style-type: none"> ・2学年になって使用する塩酸、酢酸、硫酸、酢酸、水酸化ナトリウム水溶液を調製する。 ・Ag^+、Pb^{2+}が含まれる混合試料溶液を分析する。 ・未知試料が何であるか、分析する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・決められた濃度、量の酸、アルカリ溶液を計算し、正しく調製することができるかを確認する。 ・フローチャートの約束事を理解し、順序追って実習することができる。 ・未知試料が何であるか、説明することができる。 	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
工業・情報技術基礎	くすり・バイオ科1年	2	情報技術基礎 (実教出版)	全工パソコン利用技術検定演習問題集 (全工高等学校長協会)
科目の概要と目標	<p>ワードプロセッサWORDを用いて、ビジネス文章を作成できるようにする。 表計算ソフトEXCELを用いて、ビジネス文章を作成できるようにする。 全工パソコン利用技術検定試験2、3級に合格する。 インターネットを活用できるようにする。 パワーポイントを用いて、プレゼンテーションを行う 簡単なHTMLの知識を身につけホームページを作成できるようにする。</p>			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	産業社会と情報技術 パソコンの基礎 ソフトウェアの基礎 日本語ワードプロセッサ 筆記と実技 データの表し方 ハードウェア パソコン検定	<ul style="list-style-type: none"> ・情報技術の発展と情報モラルについて学習する。 ・コンピュータのハードウェアの基本構成について学習する。 ・ソフトウェアの分類やその種類と役割、OSの基本操作について学習する。 ・WORDを用いて基本的、実用な文章の作成する。 ・マルチメディア、ネットワークの利用について学習する。 ・2進数、16進数について、演算と変換の仕方について学習する。 ・コンピュータの中での情報表現の特徴を理解する。 ・パソコン利用技術検定3級 	情報技術の発展と情報モラルを守る意義を理解する。 パソコンの基本操作をマスターさせる。 OSの役割やソフトウェアについて理解する ビジネス文章の作成を行えるよう指導する。 マルチメディア、ネットワークの利用を理解する 基本演算方法を学習させる 検定を合格する。	
2	ソフトウェアの基礎 表計算ソフト 電子メール インターネット パソコン検定	<ul style="list-style-type: none"> ・EXCELを用いて簡単な集計表の作成とグラフの作成、印刷、データベース機能を学習する。 ・パソコンのハードウェア、ソフトウェア、プログラミング言語、周辺機器について学習する。 ・電子メールについて学習する。 ・インターネットの仕組みや接続方法、その利用について学習する。 ・EXCELを用いてデータベース管理を行えるようにする。 ・パソコン利用技術検定2級 	見やすいグラフを作成する。 データベース(ソート等)の利用ができる。 インターネットを利用した電子メール・データ蓄積をはじめとするネットワーク利用ができる。 検定を合格する。	
3	プレゼンテーションソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・POWER POINTによるスライドの作成を行う。 ・POWER POINTを用いて、インパクトのあるプレゼンテーション発表会を行う。 	POWER POINTの基本操作をマスターする。 POWER POINTを用いてプレゼンテーションを行う。	

教科・科目	対象学科 ・学年	単位数	教科書	使用教材
商業 ・ ビジネス基礎	情報デザイン科 ・1年	2	ビジネス基礎 (東京法令出版)	全商珠算・電卓実務検定演習(実教出版)、珠算・電卓実務検定模擬試験問題集3級・2級(実教出版)、全商ビジネスコミュニケーション検定テキスト(実教出版)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・商業科へ入学した意義を知ると同時に私たちの経済生活の仕組みについて学ぶ。 ・全商電卓検定3級合格に向け、知識・技能を高める。 ・会計活用能力を高め、製品をつくるためにかかった費用の計算方法について学ぶ。 ・全商電卓検定試験2級合格に向け、知識・技能を高める。 ・ビジネスの世界で生きるための基礎を身に付け、自分の興味・関心や進路、適性を把握する。 			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	第1章 商業の学習ガイダンス 第5章 ビジネスと売買取引 第2章 ビジネスとコミュニケーション	<p>商業を学ぶ目的、学び方について理解し、商業科目の土台となることを認識させる。</p> <p>商品売買の手順を理解し、様々な代金決済の方法を知ると同時に、利益をあげるための計算方法を身に付けさせる。</p>	<p>商業科目を学ぶ目的、学び方を理解させる。</p> <p>商品の売買計算を通じて、ビジネスの世界がどのような仕組みで取引が行われているか理解させる。 (全商電卓検定3級受験)</p>	
2	第5章 ビジネスと売買取引 第3章 経済と流通の基礎	<p>1学期に学んだ「売買に関する計算」を基礎として、さらにビジネス計算の理解を深める。</p> <p>流通の働きを知ることで、生産と消費が結びつき、豊かな生活が送れることを理解する。</p>	<p>1学期に学んだビジネス計算を元に、より高度な計算方法を理解させる。 (全商電卓検定2級受験)</p> <p>私たちが日頃、使用している物がどのような経路を辿り私たちの元まで流通されてきているか理解させる。</p>	
3	第4章 企業活動の基礎	<p>企業の形態、経営組織、税にはさまざまな種類があることを認識する。</p> <p>また、さまざまな分野のビジネスの役割、種類およびそのビジネスの特徴に触れ、理解する。</p>	<p>企業には様々な形態、経営組織が様々な種類があることを認識し、それぞれどのような違いがあるのか理解させる。</p> <p>ビジネスという幅広い分野の中には、様々な種類のビジネスの方法があることを理解し、それぞれの特徴を理解させる。</p>	

教科・科目	対象学科 ・学年	単位数	教科書	使用教材
商業 ・ 情報処理	情報デザイン科 ・1年	2	最新情報処理 新訂版 (実教出版)	全商情報処理検定模擬試験問題集2、3 級 (実教出版) 全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題 集2、3級(実教出版)
科目の概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を正しく活用するための基本的な知識を身につける。 ・コンピュータに関する基礎的な知識について理解する。 ・コンピュータの基本的な操作方法を習得する。 ・表計算ソフト・グラフ・データベース作成の必要性と作成方法について理解する。 ・ビジネス活動におけるコミュニケーション手段としてのビジネス文書作成方法を習得する。 ・株式会社設立に向けてプレゼンテーションの基礎について理解する。 			
学期	単 元	学 習 内 容	到 達 度 目 標	
1	1章 情報の活用と情報モラル 2章 情報通信ネットワーク とセキュリティ管理	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の意義や役割、ビジネスの関わりを理解する。 ・情報を取り扱う上での責任や守るべきルールやモラルを身につける。 ・ビジネス情報をウェブページや電子メールを活用して情報交換する方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの諸活動において情報を活用することを目指して主体的に取り組む態度を身につけている。 ・情報通信ネットワークの役割およびその構成や仕組みについて理解できる。 ・情報化社会に存在する脅威と情報システムを守る必要性について理解できる。 	
2	3章 ビジネス情報の処理と 分析 4章 ビジネス文書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェアの特色を理解させるとともに、コンピュータの基本的な操作を習得する。 ・集計や判定に関する関数の利用方法を習得する。 ・データベースの特性とその活用方法、また意義を理解する。 ・ワープロソフトウェアを活用した基本的な通信文書を作成するための技術を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を主体的に活用することを目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に適切に判断し、表現する能力を身につけている。 ・ビジネスの諸活動における情報の活用を合理的に計画し、技術を適切に活用している。 ・表計算ソフトを活用する意義について理解し、操作方法を習得できる。 ・業務を円滑に遂行するための文書の作成方法を身につけることができる。 	
3	5章 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションを行うさいの話し方や進め方の基礎について理解する。 ・図解や表、グラフなどを利用してビジュアル化した効果的で説得力のあるプレゼンテーションを行う技法を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの諸活動におけるコミュニケーション手段としての意義と役割を理解できる。 ・情報の収集・処理・分析・表現に関する基礎的な技術を身につけ、その意義や役割について理解している。 ・情報やデータを適切に選択し、目的に役立てる情報の伝達を行うことができる。 	

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教科書	使用教材
工業 課題研究	工業科 3年	3	なし	なし
科目の概要 と目標	身近な疑問に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決に向けて意欲的に取り組む能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	テーマ、目的、計画の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマの検討 ・実験方法の確立 ・年間計画の作成 ・実験、研究 ・中間発表を行う。 	<p>既習の授業やニュース、身近なものから疑問や課題を見つけ出すことができる。</p> <p>理論に基づいて仮説を立て、仮説を実証するための実験方法を検討することができる。</p> <p>本やインターネットからテーマに関する情報を収集し、目的を設定できる。</p> <p>疑問解決、目的達成に必要な設備や器具を調査し、実験可能なものを取捨選択できる。</p> <p>実験に要する日数などを検討し、年間計画を立てることができる。</p> <p>年間計画に沿って実験に取り組むことができる。</p> <p>得られたデータや結果を客観的に判断し、今後の進め方を検討することができる。</p> <p>デジタルカメラやタブレットなどの IT 機器を使うことができる。</p> <p>経過や進捗具合をわかりやすく説明することができる。</p>	
2	実験、研究 実験結果のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・中間発表をもとに再度方向付けし、追加の実験や再調査を行う。 ・実験、研究 ・実験結果を整理する。 ・実験結果をまとめ、考察を行う。 ・個人論文の作成を行う。 	<p>経過を一度整理し、実験の方向性の確認や修正ができる。</p> <p>得られたデータや結果を客観的に判断し、今後の進め方を検討することができる。</p> <p>年間計画に沿って実験に取り組むことができる。</p> <p>デジタルカメラやタブレットなどの IT 機器を使うことができる。</p> <p>調査、実験が不足しているものを見極め、追加の実験や再調査ができる。</p> <p>データをまとめ、表やグラフを作成できる。</p> <p>表やグラフを用いてプレゼンテーション資料を作成できる。</p> <p>論文の作成方法を習得し、読みやすくわかりやすい論文を作成できる。</p>	
3	発表会 抄録の作成 まとめと反省	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会の準備、練習を行う。 ・発表会を行う。 ・課題研究抄録集を完成する。 ・班ごとに研究結果等について反省を行う。 	<p>見やすいプレゼンテーションを考えることができる。</p> <p>わかりやすい発表原稿を作成することができる。</p> <p>わかりやすいプレゼンテーションや発表ができる。</p> <p>見やすくわかりやすい抄録を作成できる。</p> <p>ワープロや表計算、画像処理ソフトを使うことができる。</p> <p>研究の反省を行い、改善点や展望を今後の課題として実験方法を明確に示すことができる。</p>	

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
商業 ・ 課題研究	情報デザイン科 ・3年	3	なし	なし
科目の概要 と目標	①卒業制作のための資料の収集・調査・分析を通して、社会の状況に広く目を向け、情報を取捨選択して処理する力を身につける。 ②プレゼンテーションにおける総合的な力を高めるとともに、コミュニケーション能力を高める。 ③様々なメディアにおけるデザイン技術や視覚伝達方法について理解し、制作する能力を身につける。			
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1	卒業制作	○卒業制作の企画、立案 ○企画のプレゼンテーション ○企画の検討 ○資料の収集・整理 ○調査・分析 ○マーケティングリサーチ	卒業制作が3年間の学習の総まとめであることを理解し、高校生らしい発想や展開ができるよう基礎的な事項を理解して、制作することができる。 グループでの作業になるため、コミュニケーションを密接に取りながら取り組むことができる。 主題を明確にして制作に取り組むことができる。	
2	卒業制作	○調査結果の分析・解釈 ○コンセプトのプレゼンテーション ○デザイン展開・制作 ○校正・修正 ○ディスプレイの検討 ○最終プレゼンテーションの準備	コンセプト設定が、グループ内の共通理解を十分に図って決定することができる。 展開した発想を、具体的な内容として整理し収束することができる。 卒業制作がどの分野においても目的を促進するための視覚的な効果をねらった活動であることを理解し、コンセプトを反映することができる。 情報を整理し、見やすくわかりやすいディスプレイができる。 プレゼンテーションでの評価を基に改善点を確認することができる。	
3	北高展での展示発表 最終プレゼンテーション ポートフォリオ	○展示発表 ○最終プレゼンテーション ○ポートフォリオの作成	テーマ・コンセプトを伝えるプレゼンテーションであることを理解し、姿勢・動作・話し方など、相手に伝えるための技術を身につけることができる。 三年間の制作物を、見やすく美しく確認できるようにレイアウトする。	